



# 取扱説明書

---

## 4回線音声応答装置 AT-4000N 〈データ入力ソフト編〉

このたびは、「4回線音声応答装置 AT-4000N」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、データ入力ソフトのアプリケーション Ver.1.03 以降の製品に対応しています。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

# ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、下記の株式会社タカコム（以下「当社」といいます）のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関してお客様（個人、法人を問いません）と当社との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することにより、お客様は本契約書の条項に同意し、使用許諾契約が成立したものと見なします。

本ソフトウェアの名称：AT-4000N データ入力ソフト

ライセンス数：5

## 使用許諾の範囲

お客様は、本ソフトウェアを上記のライセンス数までのコンピュータにインストールして使用することができます。

## 禁止事項

お客様は本ソフトウェアを譲渡、販売、貸し出しをすることはできません。また、本ソフトウェアの「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

## 保証

本ソフトウェアに、当社の責に帰すべき物理的な欠陥、たとえば DVD の破損・マニュアルの落丁など、があった場合、本ソフトウェアを受領した日から30日以内にかぎり、お客様は当社に交換を要求することができます。

上記の場合、お客様が本ソフトウェアの領収書または購入を証するものとともに、本ソフトウェアを販売店にご返却ください。

## 免責事項

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いません。

# もくじ

<b>データを登録する前に</b> .....	<b>2</b>	<b>メンテナンス</b> .....	<b>50</b>
入カソフトのインストール .....	2	工場出荷時初期化 .....	50
日付・時刻の確認 .....	4	ファームウェア更新 .....	51
<b>入カソフトを起動／終了する</b> .....	<b>6</b>	<b>PC 設定</b> .....	<b>54</b>
起動のしかた .....	6	PC 設定画面の表示 .....	54
終了のしかた .....	6	装置情報の登録 .....	54
<b>データを作成する</b> .....	<b>7</b>	<b>故障とお考えになる前に</b> .....	<b>56</b>
新規にデータを作成する .....	7		
SD カードから読み込む .....	7		
ファイルから読み込む .....	8		
装置から読み込む .....	9		
<b>メッセージを編集する</b> .....	<b>10</b>		
音声画面の表示 .....	10		
音声合成によるメッセージ変換 .....	12		
外部音源からの音声録音 .....	18		
音声ファイルの取込 .....	20		
<b>スケジュールを編集する</b> .....	<b>22</b>		
日課パターンを作成する .....	23		
年間スケジュールを作成する .....	28		
<b>機能設定を登録する</b> .....	<b>34</b>		
設定画面の表示 .....	34		
<b>ファイル管理</b> .....	<b>36</b>		
SD 書込 .....	36		
装置書込 .....	38		
印刷 .....	40		
ファイル保存 .....	41		
<b>運用管理</b> .....	<b>42</b>		
集計 .....	42		
本体操作 .....	44		
ログビューア .....	48		

# データを登録する前に

音声合成などによるメッセージデータの作成や日課パターンを使用したスケジュールデータの作成、本体装置の機能設定は、お手持ちのパソコンにインストールした「AT-4000N データ入力ソフト」（以下、本書では「本ソフト」または「入力ソフト」と記述します）で行います。お手持ちのパソコンの動作環境や、メッセージデータやスケジュール作成の流れを理解した上でデータ作成を行ってください。

## 入力ソフトのインストール

### ■ パソコンの推奨仕様

お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違うと、正常にデータ作成ができない場合があります。

OS ※日本語版対応 (注1)	(Microsoft) Windows 11 Home/Pro/Enterprise Windows 10 Home/Pro/Enterprise
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	1.3GB 以上の空き容量 (注2)
ドライブ	DVD-ROM ドライブ (インストール時に必要)
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
USB ポート (注3)	SD カード (添付品) が読み書きできる市販の SD カードリーダー等が接続できること (注4)
サウンド	Wave ファイル (PCM) が再生できること
ネットワーク	通信プロトコル : TCP/IP インターフェース : 10BASE-T、100BASE-TX 帯域 : 1Mbps 以上

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

(注1) Windows 11/10 の S モードおよび ARM 版 Windows 11/10 は対象外となります。

(注2) パソコン環境によっては、「Microsoft .NET Framework」のインストールに必要な HDD 容量が増える場合があります。

(注3) 入力ソフトで作成したデータは、SD カード経由で本体装置に読み込みます。本装置に添付されている SD カードではない市販の SD カードを使用する場合は、本体編の取扱説明書「はじめに SD カードについて」を参照してください。

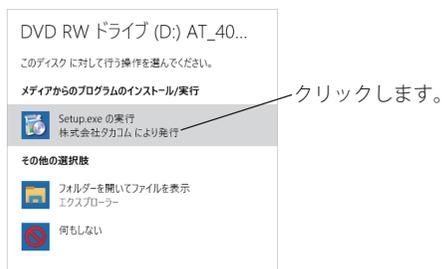
(注4) SD カードに暗号化して書き込み等をするセキュリティ機能を保有しているパソコンの場合、SD カードに書き込みする際はセキュリティ機能を解除してください。

### ■ インストールのしかた

お手持ちのパソコンへ、添付の DVD から本ソフトをインストールします。ご使用になるパソコンが、Windows Update により最新の状態であることを確認した後で、他のソフトをすべて終了してからインストールしてください。また、インストールする際は、必ず管理者権限のある (Administrators グループに所属している) ユーザーが行ってください。

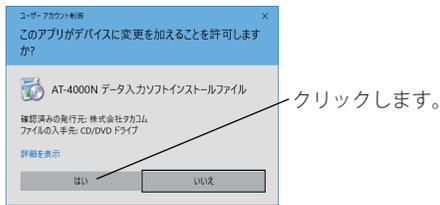
(Windows 10 の操作例)

- ① ほかのソフトをすべて終了します。
- ② インストール用 DVD をパソコンの DVD ドライブにセットします。
  - ・操作確認画面が表示されます。
- ③ 操作確認画面をクリックします。
- ④ [setup.exe の実行] をクリックします。



・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

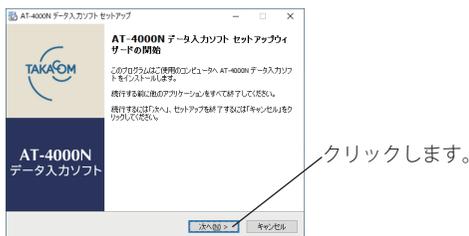
⑤ [はい] ボタンをクリックします。



※ Microsoft .NET Framework 4.8 がインストールされていない環境の場合、Microsoft .NET Framework のインストールがはじまります。画面に従ってインストールしてください。Microsoft .NET Framework 4.8 以上がインストールされている場合は、インストールされません。

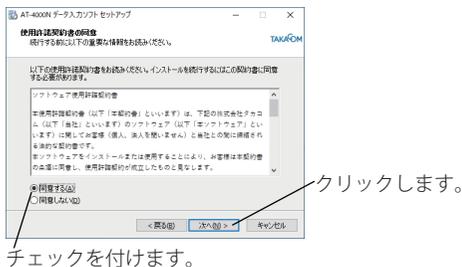
・【セットアップウィザードの開始】画面が表示されます。

⑥ [次へ] ボタンをクリックします。



・【使用許諾契約書の同意】画面が表示されます。

⑦ 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は [同意する] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

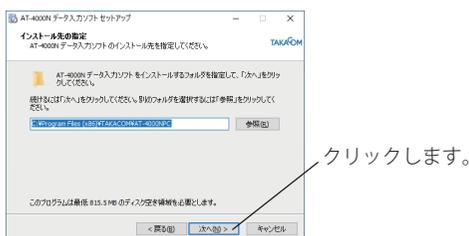


チェックを付けます。

・【インストール先の指定】画面が表示されます。

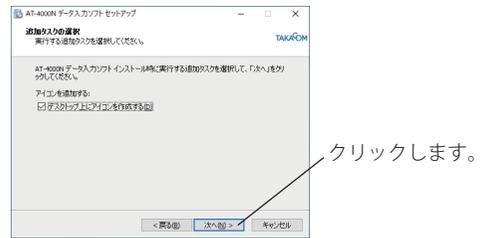
⑧ [次へ] ボタンをクリックします。

※ インストールするフォルダを変更する場合は、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。



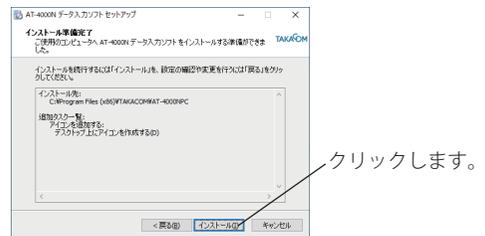
・【追加タスクの選択】画面が表示されます。

⑨ タスクの選択をして [次へ] ボタンをクリックします。



・【インストール準備完了】画面が表示されます。

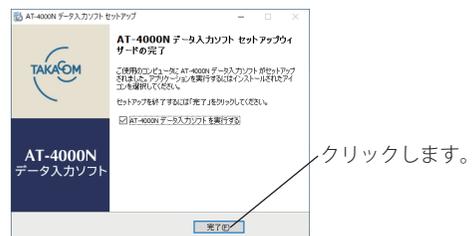
⑩ [インストール] ボタンをクリックします。



・インストールが開始されます。

・インストールが終了すると、【セットアップウィザードの完了】画面が表示されます。

⑪ [完了] ボタンをクリックします。



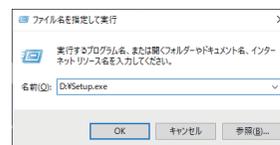
## ワンポイント

● 操作確認画面が消えてしまったときなどで、【自動再生】画面が表示されない場合は、次のようにします。

① デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

② 「名前」欄に、キーボードから「D:¥Setup.exe」と入力して [OK] ボタンをクリックします。

・「D:」は DVD のドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。



## ■ アンインストール

本ソフトをアンインストール（削除）するときには、次の手順で行います。

- ① 本ソフトを終了します。
- ② デスクトップ画面におけるタスクバーから、[con]と入力して検索される「コントロールパネル」をクリックします。
- ③ 【表示方法：カテゴリの場合】  
「プログラムのアンインストール」を開きます。  
【表示方法：大きいアイコンの場合】  
【表示方法：小さいアイコンの場合】  
「プログラムと機能」を開きます。
- ④ 「AT-4000N データ入力ソフト」を選んでアンインストールします。

## 日付・時刻の確認

ご使用のパソコンの年月日・時刻の形式で、カレンダーの種類が「西暦」であることを確認してください。（Windows 10 の画面例）

- ① タスクバーに表示される年月日・時刻を確認します。



年月日が「西暦」で表示されていることを確認してください。

### STOP お願い

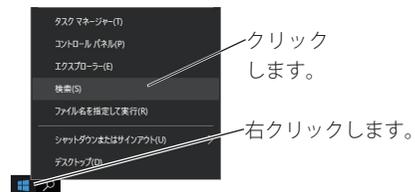
- カレンダーの種類を「和暦」にしないでください。スケジュールに従ったメッセージの応答機能が正常に動作しません。

## ■ 年月日が「和暦」で表示されている場合

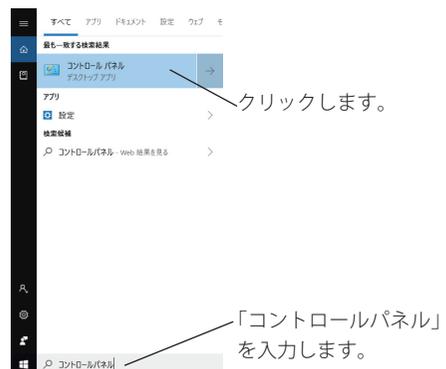
カレンダーの種類が「和暦」で表示されている場合は、以下の手順で「西暦」に変更してください。

（Windows 10 の操作例）

- ① デスクトップ画面の「スタートボタン」を右クリックして表示される一覧から、[検索]をクリックします。



- ② キーワード入力欄に「コントロールパネル」を入力して検索された「コントロールパネル」をクリックします。



③ 「時計と地域」をクリックします。



クリックします。

- ・【時計と地域】画面が表示されます。

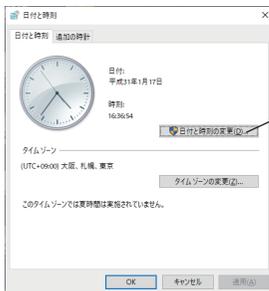
④ 「日付と時刻の設定」をクリックします。



クリック  
します。

- ・【日付と時刻】画面が表示されます。

⑤ 「日付と時刻の変更」ボタンをクリックします。



クリック  
します。

- ・【日付と時刻の設定】画面が表示されます。

⑥ 「カレンダーの設定の変更」をクリックします。



クリック  
します。

- ・【地域】画面が表示されます。

⑦ 「追加の設定」ボタンをクリックします。



クリック  
します。

- ・【形式のカスタマイズ】画面が表示されます。

⑧ 「日付」タブをクリックして、「カレンダーの種類」で「西暦（日本語）」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



クリック  
します。

“西暦（日本語）”を  
選択します。

クリック  
します。

⑨ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。

# 入ソフトを起動／終了する

## 起動のしかた

- ① デスクトップ画面にショートカットアイコンがある場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックします。



- ・メニュー画面が表示されます。



《メニュー画面》  
アプリケーションバージョン



## 終了のしかた

- ① 本ソフトを終了するときは、メニュー画面の [終了] ボタンをクリックします。



クリックします。

## ワンポイント

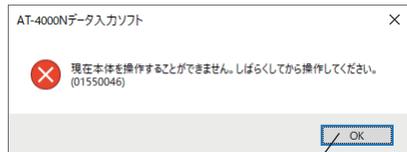
- デスクトップ画面にショートカットアイコンがない場合は、以下の手順でメニュー画面が表示できます。

(Windows 10 の操作例)

- (a) スタートボタンを右クリックして「検索」をクリックします。
- (b) キーワード入力欄に「AT-4000N」を入力して検索された「AT-4000N データ入カソフト」をクリックします。



- 本装置が操作中の場合は、本ソフトの操作中に、以下の画面が表示される場合があります。



クリックします。

このときは、[OK] ボタンをクリックして本装置の操作が終了したあとで、再度本ソフトから操作を実施してください。

# データを作成する

メッセージやスケジュールなどの各種データを新規に作成したり、SDカードに保存された各種データや制御用パソコンのハードディスクなどに保存された各種データを読み込んで編集できます。

## 新規にデータを作成する

メッセージやスケジュールなどの各種データを作成します。

- ① メニュー画面の [新規作成] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・確認画面が表示されます。

- ② 前回のデータで編集画面を表示する場合は、[はい] ボタン、新規データで編集画面を表示する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。



- ・編集画面が表示されます。

《編集画面》



- [音声] ボタン
- [スケジュール] ボタン
- [設定] ボタン
- [ファイル管理] ボタン

※ 編集画面の操作方法は以下を参照してください。

- [音声] ボタン : 10 ページ
- [スケジュール] ボタン : 22 ページ
- [設定] ボタン : 34 ページ
- [ファイル管理] ボタン : 36 ページ

## SDカードから読み込む

SDカードに保存されている各種データを、市販のSDカードリーダーを使用して制御用パソコンに読み込んで編集します。

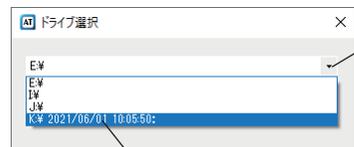
- ① 制御用パソコンに接続されたSDカードリーダーにSDカードを差し込みます。
- ② メニュー画面の [SD 読込] ボタンをクリックします。



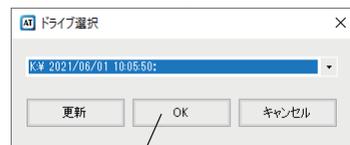
クリックします。

- ・ドライブ選択画面が表示されます。

- ③ [▼] をクリックしてSDカードが挿入されたドライブを選択した後で、[OK] ボタンをクリックします。



選択します。

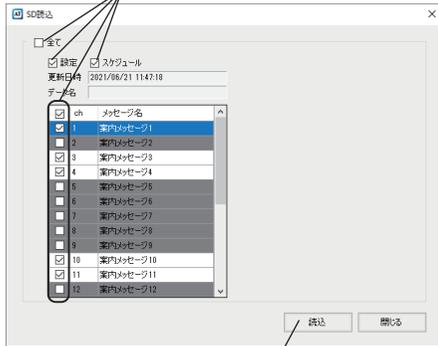


クリックします。

- ・SD 読込画面が表示されます。

## データを作成する

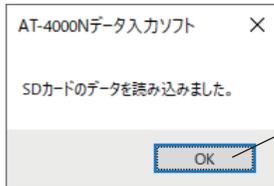
- ④ 読込対象となるデータのチェックボックスにチェックを付けて [読込] ボタンをクリックします。  
チェックを付けます。



クリックします。

- ・ 読込完了画面が表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ 編集画面が表示されます。

## ファイルから読み込む

制御用パソコンのハードディスクや外部記憶装置などに保存したデータを読み込んで編集します。

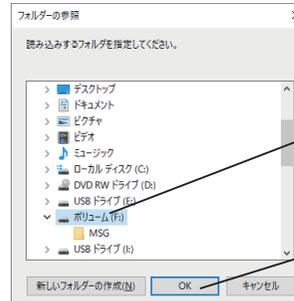
- ① メニュー画面の [ファイル読込] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ フォルダの参照画面が表示されます。

- ② データが保存してあるドライブやフォルダを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

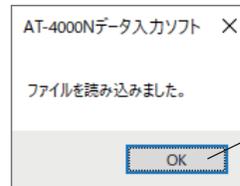


ドライブや  
フォルダを  
指定します。

クリックします。

- ・ 読込完了画面が表示されます。

- ③ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ 編集画面が表示されます。

## 装置から読み込む

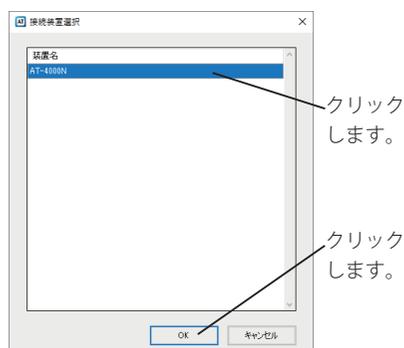
制御用パソコンとネットワーク接続された本装置からデータを読み込んで編集します。あらかじめ本装置のIPアドレスなどを登録してください。詳細については、「PC 設定」(54 ページ)を参照してください。

① メニュー画面の [装置読込] ボタンをクリックします。



・接続装置選択画面が表示されます。

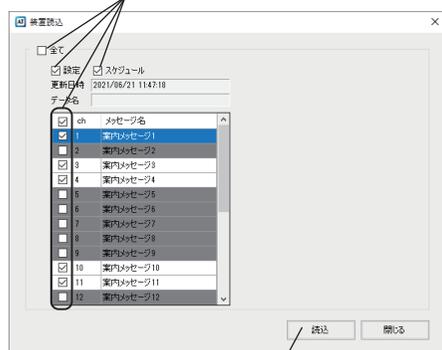
② データを読み込む装置を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



・装置読込画面が表示されます。

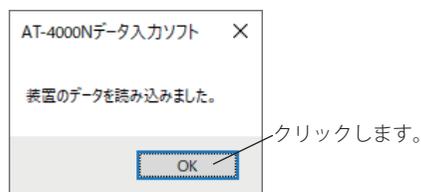
③ 読込対象となるデータのチェックボックスにチェックを付けて [読込] ボタンをクリックします。

チェックを付けます。



・読込完了画面が表示されます。

④ [OK] ボタンをクリックします。



・編集画面が表示されます。

# メッセージを編集する

電話をかけてきた相手に送出するメッセージが編集できます。メッセージは、案内メッセージとして 20ch、挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音としてそれぞれ 1ch が登録できます。またメッセージは 23ch 合計で最大 100 分まで録音できます。

メッセージの作成方法は、テキストファイルからメッセージに変換する「音声合成」、録音デバイスからの再生音を録音する「音声録音」、パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込む「音声取込」があります。

## 音声画面の表示

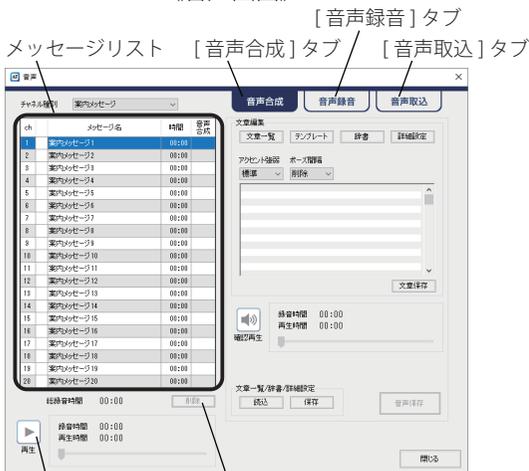
- ① 編集画面の [音声] ボタンをクリックします。

《編集画面》



クリックします。

《音声画面》

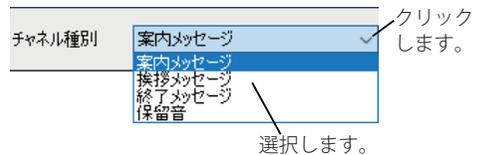


[再生] ボタン [削除] ボタン

## ■ メッセージの再生

メッセージリストに保存されているメッセージを再生して、メッセージの内容が確認できます。

- ① [v] をクリックしてチャンネル種別を選択します。



選択します。

- ② 再生するメッセージを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	案内メッセージ2	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	

クリックします。

・対象のメッセージ行が反転されます。

- ③ [再生] ボタンをクリックします。



クリックします。

※ 再生ツマミをドラッグして再生位置が変更できます。

・メッセージが再生されます。



[停止] ボタン

※ 再生中は [再生] ボタンが [停止] ボタンに変更されます。

## 👉 ワンポイント

- メッセージの最大録音時間は 23ch 合計で 100 分のため、1 メッセージの最大録音時間は、1 メッセージで運用する場合で、100 分になります。

## ワンポイント

- 音声合成により作成されたメッセージは、[音声合成] 表示欄に “○” が表示されます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	案内メッセージ2	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	

〔音声合成〕表示欄

- すでに音声合成により作成されたメッセージを選択した場合、文章入力欄には保存されているメッセージが表示されます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	案内メッセージ2	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	
4	案内メッセージ4	00:00	
5	案内メッセージ5	00:00	
6	案内メッセージ6	00:00	
7	案内メッセージ7	00:00	
8	案内メッセージ8	00:00	
9	案内メッセージ9	00:00	
10	案内メッセージ10	00:00	
11	案内メッセージ11	00:00	
12	案内メッセージ12	00:00	
13	案内メッセージ13	00:00	

文章編集

文章一覧    テンプレート    書き    詳細設定

---

アシッド強調    ボイス調整

標準    削除

はい、A日会社でございます。  
折角お電話いただきましたが、本日は臨時休業とさせていただきます。  
明日より平常業務となりますので、御心配入りますが、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。  
お電話ありがとうございました。

文章保存

音声合成により作成されたメッセージを指定した場合は、保存されている内容を表示します。

- メッセージ名を編集する場合は、[メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	臨時休業	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	

〔メッセージ名〕入力欄

- ・ 最大 10 文字まで入力できます。
- メッセージに色を指定することができます。メッセージリストのメッセージ色をダブルクリックして表示される色選択画面から指定してください。

〔メッセージ色〕配置欄

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	案内メッセージ2	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	

ダブルクリックします。

↓  
クリックして選択します。



クリックします。

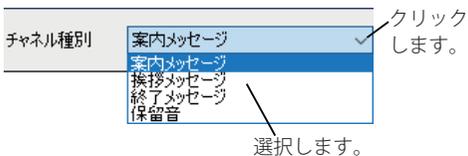
## 音声合成によるメッセージ変換

テキストファイルなどから読み込んだ文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換します。

《音声画面（音声合成）》



① [ v ] をクリックしてチャンネル種別を選択します。



② 案内メッセージの場合は、編集対象のチャンネルを選択します。



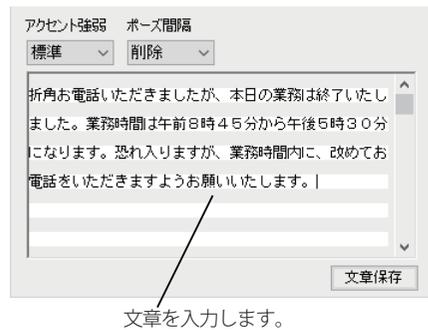
・挨拶メッセージ、終了メッセージの場合は固定チャンネルになります。

③ [音声合成] タブをクリックします。



※ 編集画面から最初に表示される画面は、音声画面（音声合成）です。

④ 文章入力欄に音声合成で読み上げたい文章を入力します。

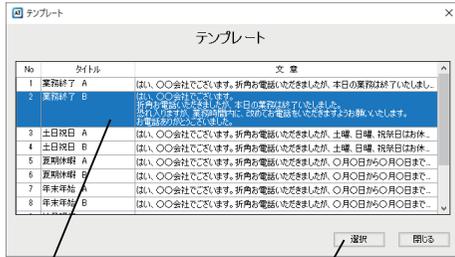


- ・テキストファイルからのコピーペーストができます。このとき半角文字は全角文字に変換されます。
- ・特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。

**ワンポイント**

- [テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます。

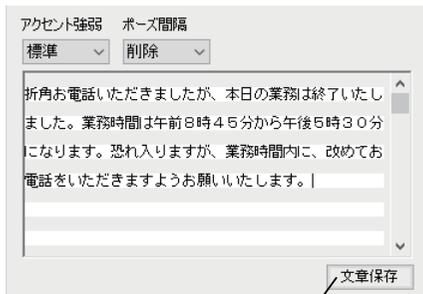
クリックします。



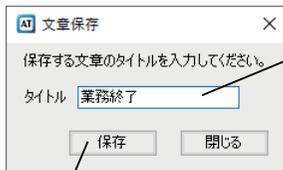
選択します。

クリックします。

- 編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文章保存画面で、タイトルを入力してください。
- ・文章は最大 100 件保存できます。
- ・タイトルは最大 10 文字まで入力できます。



クリックします。



クリックします。

タイトルを入力します。

また保存された文章は、[文章一覧] ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。

クリックします。



- テンプレートや文章一覧から文章を選択した場合、すでに入力されているメッセージは消去されます。

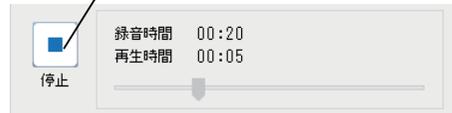
- ⑤ 音声を確認するため、[確認再生] ボタンをクリックしてメッセージを再生します。

クリックします。



- ・音声合成されたメッセージが再生されます。
- ・文章を範囲選択すると、選択されている文章のみ再生します。
- ・再生中は[確認再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

[停止] ボタン



アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、「アクセント強弱の調節」(15 ページ) や「ポーズ間隔の調節」(14 ページ) を参照してください。

※ 作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがあります、あらかじめご了承ください。

**ワンポイント**

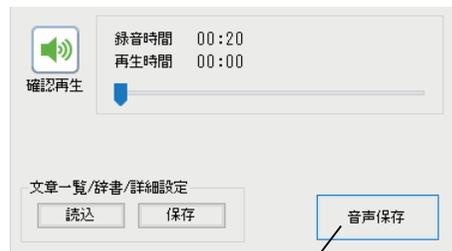
- 電話番号を文章として入力した場合の読み方は、以下となります。

(例)

入力文章: 「098-765-4321 までご連絡ください」

再生内容: 「ゼロキュウハチのナナロクゴのヨンサンニイイチまでごれんらくください」

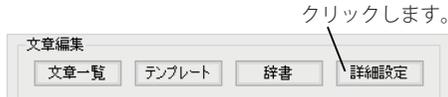
- ⑥ [音声保存] ボタンをクリックして、メッセージを保存します。



クリックします。

## ワンポイント

- 【詳細設定】ボタンをクリックすると、文章を読み上げる速度や声の大きさなどが変更できます。「音声合成詳細設定」(15 ページ)を参照してください。



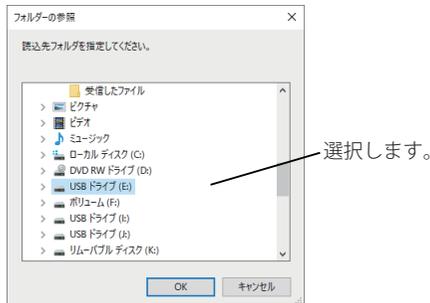
- 【辞書】ボタンをクリックすると、単語の読み方などをあらかじめ登録しておくことができます。「辞書登録」(16 ページ)を参照してください。



- お客様で任意に作成された文章一覧や辞書の登録内容および、音声合成詳細設定の各設定値を、外部メモリなどに保存したり、外部メモリなどから読み込んだりすることができます。[読込]ボタンや[保存]ボタンをクリックして表示される、【フォルダーの参照】画面から保存場所を選択してください。



[読込] ボタン      [保存] ボタン

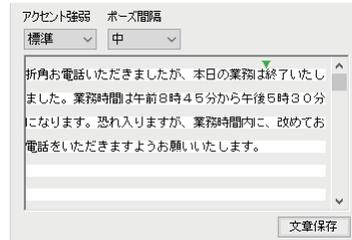


## ポーズ間隔の調節

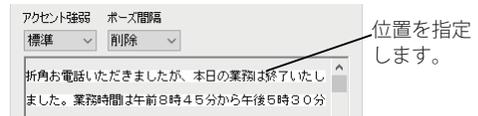
文章入力欄で選択された文字列のポーズ間隔の調節ができます。

- ・ポーズ間隔は 3 段階で調節できます。

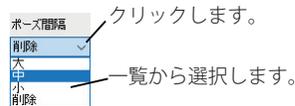
【表示例】



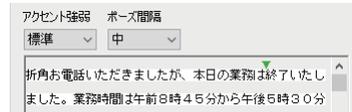
1. 空白時間を挿入したい箇所をマウスで指定します。



2. ポーズ間隔の [ v ] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。



- ・間隔に応じて指定位置に緑の逆三角形が表示されます。

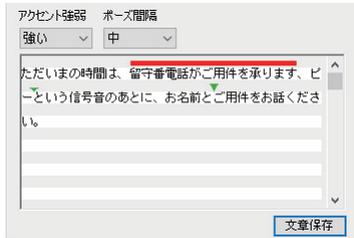


## アクセント強弱の調節

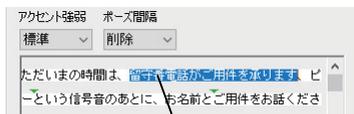
文章入力欄で選択された文字列のアクセントの強弱の調節ができます。

- ・アクセント強弱は5段階で調節できます。

【表示例】



1. アクセントの強弱をつけたい文字列をドラッグします。



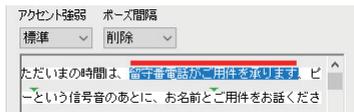
ドラッグします。

2. アクセント強弱の [ v ] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。

- ・アクセントの強弱をつけない場合は、“標準”を選択します。



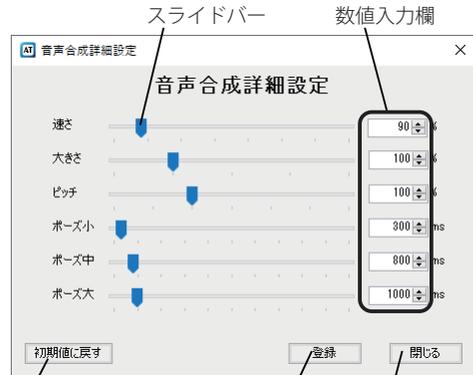
- ・強弱に応じて文字列の上に赤いバーが表示されます。



※ 熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発言にならない場合は、単語を辞書登録して読みにアクセントを付けてください。辞書登録については次ページを参照してください。

## 音声合成詳細設定

アクセント強弱やポーズ間隔の他に、文章を読み上げる速度や声の大きさなど、各種の設定項目に詳細な設定ができます。



[初期値に戻す] ボタン [登録] ボタン [閉じる] ボタン

※ 設定値を工場出荷状態 (初期値) に戻します。

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	速さ	文章を読むスピード	50～400%	90%
2	大きさ	声の大きさ	50～250%	100%
3	ピッチ	声の高さ	50～200%	100%
4	ポーズ小	一時停止する間隔 (小)	10～1000ms	300ms
5	ポーズ中	一時停止する間隔 (中)	10～1000ms	800ms
6	ポーズ大	一時停止する間隔 (大)	10～1000ms	1000ms

1. 各設定項目の値を、数値入力欄へのキーボードからの数値入力や、[▲/▼] をクリックして調節したり、スライダーの位置により調節します。
  - ・キーボードから数値を入力した場合、キーボードの [Enter] キーを押してください。

2. [登録] ボタンをクリックした後で、[閉じる] ボタンをクリックします。

※ [登録] ボタンをクリックしないと変更した値は保存されません。

## ご注意

- 音声合成詳細設定により変更された内容は、すでに登録されている音声合成メッセージには反映されません。登録後に音声合成により作成されたメッセージに反映されるため、ご注意ください。

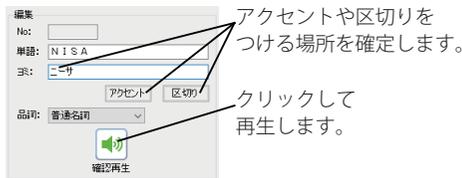
## 辞書登録

よく使う単語や、あまり一般的ではない言葉を辞書登録することができます。あらかじめアクセントをつけて調整を行い、辞書登録しておくことで、メッセージ編集が便利になります。

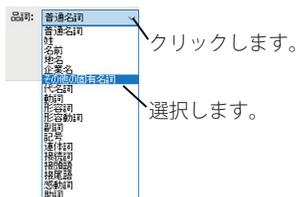
### 【辞書画面】



1. 単語と読みを入力して、[確認再生]ボタンで音声を聞きながら、アクセントや区切りの位置を確認します。



2. 品詞の[v]をクリックして表示される一覧から単語の品詞を選択します。



3. [登録] ボタンをクリックします。



[削除] ボタン      [登録] ボタン

- 最大 300 件登録できます。
- 辞書画面に反映されます。
- 辞書画面で単語を選択して、[削除] ボタンをクリックすると登録されている単語が削除されます。

## ご注意

- 辞書登録した単語は登録後に保存したメッセージから反映されます。同じ単語でも辞書登録前に保存したメッセージには反映されませんので、ご注意ください。
- 文章の前後のテキストによって、意図した発音にならない場合がありますので、ご注意ください。

## ワンポイント

- 文章入力欄で熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発音にならない場合があります。このときは熟語を辞書登録して読みにアクセントを付けることで、意図した発音にできます。

## STOP お願い

- アクセントや区切りの位置を調節した単語を辞書登録するときは、必ず [確認再生] ボタンで調節した内容を確認してから辞書登録をしてください。調節内容によっては、辞書が上手く登録できないことがあります。

---

メモ

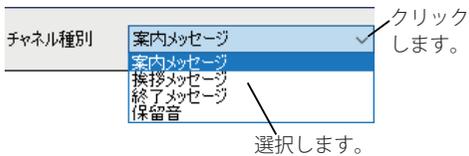
## 外部音源からの音声録音

録音デバイスからの再生音を録音してメッセージとして保存します。

《音声画面（音声録音）》



① [ v ] をクリックしてチャンネル種別を選択します。



② 案内メッセージの場合は、編集対象のチャンネルを選択します。



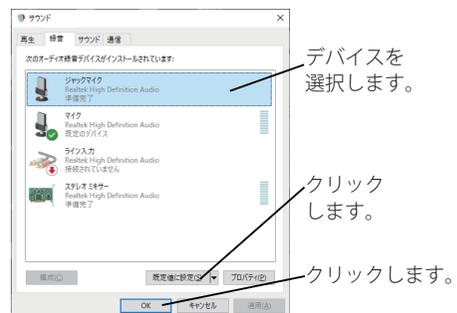
・挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音の場合は固定チャンネルになります。

③ [ 音声録音 ] タブをクリックします。



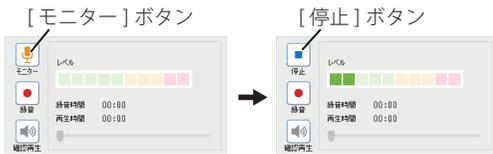
④ [ 録音デバイス設定 ] ボタンをクリックして、音源を入力するデバイスが選択されていることを確認します。

※ 録音デバイスを変更する場合は、[ 録音デバイス設定 ] ボタンをクリックして、デバイスが選択できます。また音源の音量も変更できます。詳細は「ワンポイント」(次ページ)を参照してください。



⑤ メッセージを録音します。

- 1) 録音デバイスから再生音を入力して、[モニター] ボタンをクリックします。



・[モニター] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

- 2) 録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。



- 3) [停止] ボタンをクリックします。

・[停止] ボタンが[モニター] ボタンに変わります。

- 4) 再度再生音を入力して、[録音] ボタンをクリックします。

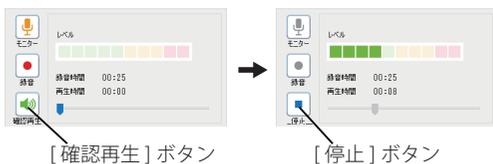


・[録音] ボタンが[停止] ボタンに変わり、録音が始まります。

- 5) 録音を終了する場合は、[停止] ボタンをクリックします。

・録音が終了します。

- 6) 録音されたメッセージを確認する場合は、[確認再生] ボタンをクリックします。



・[確認再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

・再生を停止させる場合は、[停止] ボタンをクリックします。

- ⑥ [音声保存] ボタンをクリックして、メッセージを保存します。



クリックします。

ワンポイント

- パソコンのマイク入力端子にマイクなどを接続して音源からの音声を録音する際に、Windows のサウンド機能を使用することで、入力する音源の音量が変更できます。

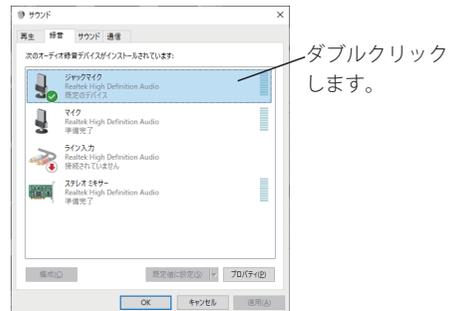
- 1) [録音デバイス設定] ボタンをクリックします。



・Windows のサウンド画面が表示されます。

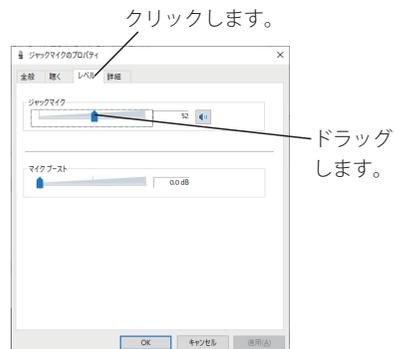
- 2) 録音対象のデバイスを選択してダブルクリックします。

※ 必ずデバイスを接続してください。



・デバイスのプロパティ画面が表示されます。

- 3) [レベル] タブをクリックして表示される画面において、スライダーをドラッグして音量を調整します。

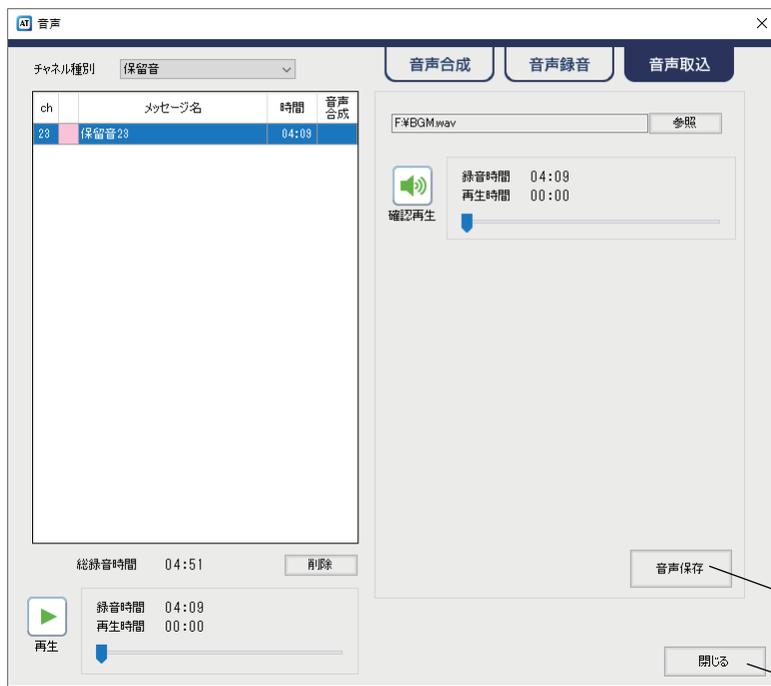


- 4) 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。

## 音声ファイルの取込

パソコンや USB メモリなどから wave ファイルを読み込んでメッセージとして保存します。

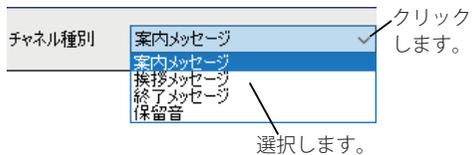
《音声画面（音声取込）》



[音声保存] ボタン

[閉じる] ボタン

① [ v ] をクリックしてチャンネル種別を選択します。



② 案内メッセージの場合は、編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	臨時休業	00:22	○
3	業務終了	00:20	○
4	案内メッセージ4	00:00	
5	案内メッセージ5	00:00	

選択します。

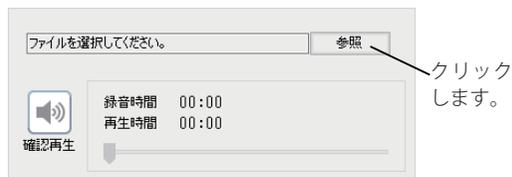
・挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音の場合は固定チャンネルになります。

③ [音声取込] タブをクリックします。



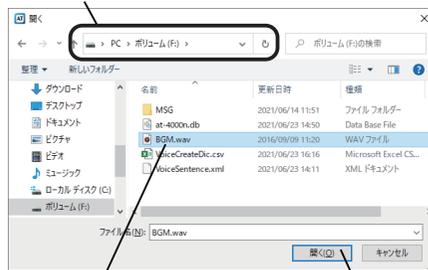
④ 取り込むファイルを選択します。

1) [参照] ボタンをクリックします。



・音声ファイル選択画面が表示されます。

2) ファイルの場所とファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。  
ファイルの場所を指定します。



ファイルを選択します。

クリックします。

3) [確認再生] ボタンをクリックして音声を確認します。



[確認再生] ボタン

- ・ 音声が再生されます。
- ・ [確認再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。



[停止] ボタン

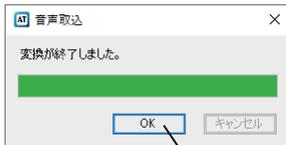
⑤ [音声保存] ボタンをクリックして、メッセージを保存します。



クリックします。

- ・ ファイル形式の変換後に変換終了メッセージが表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

## ワンポイント

- 本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	8kHz/16bit モノラル
		22.05kHz/16bit ステレオ、モノラル
		44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

- 1秒未満の音声については、最後に無音を挿入して1秒単位のメッセージが作成されます。  
(例) 40秒 121 ミリ秒の音声の場合は、879 ミリ秒無音を追加して 41 秒になります。

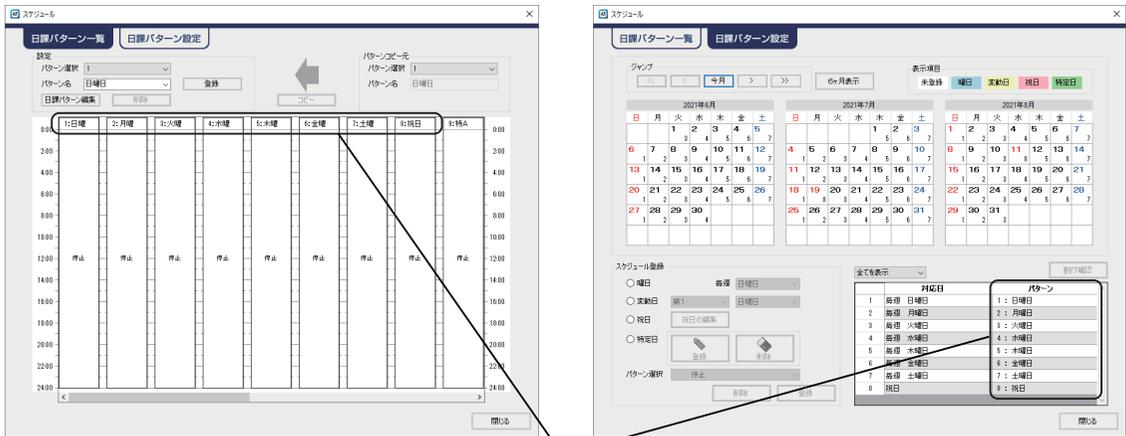
# スケジュールを編集する

タイマー運用時に応答する日課パターンと、その日課パターンを日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。日課パターンは最大 20 パターン作成できます。



## ワンポイント

- 本ソフトにはあらかじめ、日課パターンが 1 (日曜) から 8 (祝日) まで登録されています。また、この日課パターンは曜日スケジュールと祝日スケジュールに登録されています。これにより、日課パターンを編集するだけで年間スケジュールがご活用いただけます。

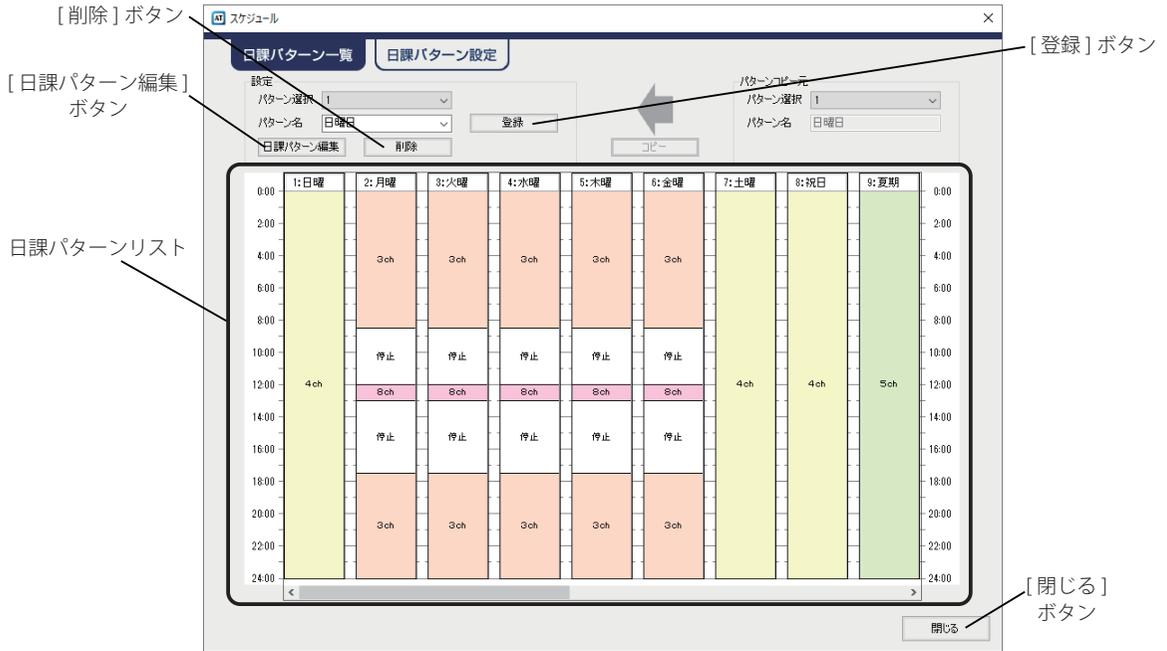


日課パターンや年間スケジュールの詳細な修正内容については、以下を参照してください。

- ・日課パターンを作成する : 次ページ
- ・年間スケジュールを作成する : 28 ページ

## 日課パターンを作成する

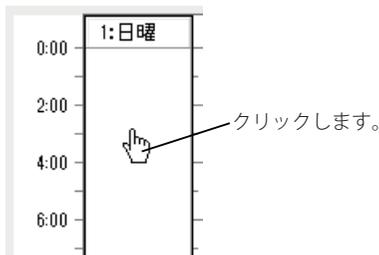
《スケジュール画面（日課パターン一覧）》



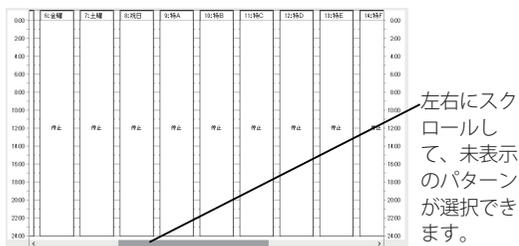
① [日課パターン一覧] タブをクリックします。

※ 編集画面から最初に開いたときはスケジュール画面（日課パターン一覧）になっています。

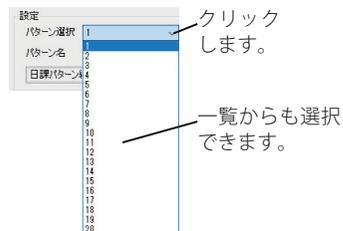
② 対象となるパターンをクリックして選択します。



・日課パターンリストのスクロールバーをスクロールして、未表示のパターンが確認できます。

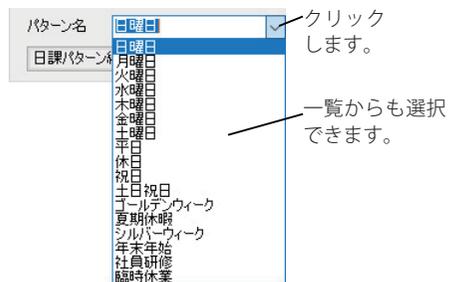


・パターン選択の[v]をクリックして表示されるパターン一覧からも選択できます。



③ キーボードからパターン名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。  
・パターン名の[v]をクリックして表示されるパターン名一覧からも選択できます。



## スケジュールを編集する

- ④ [登録] ボタンをクリックします。
- ・パターン名が登録されます。
- ※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。
- ⑤ [日課パターン編集] ボタンをクリックして、動作ステップを作成します。
- ・日課パターン編集画面が表示されます。
  - 25 ページを参照してください。

- ⑥ 別の日課パターンを設定する場合は、手順②～⑤を繰り返します。

- ⑦ [閉じる] ボタンをクリックします。
- ・編集画面が表示されます。

作成済みの日課パターンは、手順③で [削除] ボタンをクリックすると削除されます。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

### 日課パターンをコピーする

すでに作成してある日課パターンをコピーして、類似の日課パターンを作成することができます。

(例) パターン2をパターン3にコピーする

#### 【方法1】

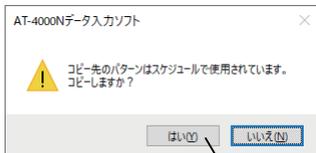
1. パターンコピー元と設定のパターン選択の [v] をクリックして表示される一覧から、コピー元 (パターン2) とコピー先 (パターン3) を選択して、[コピー] ボタンをクリックします。

クリックして選択します。



クリックします。

2. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。



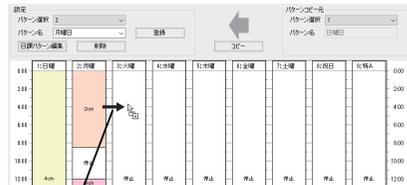
クリックします。

- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。



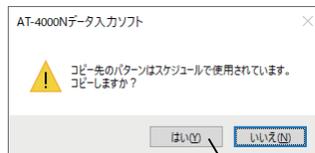
#### 【方法2】

1. コピー元の日課パターンをコピー先の日課パターンにドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップします。

2. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

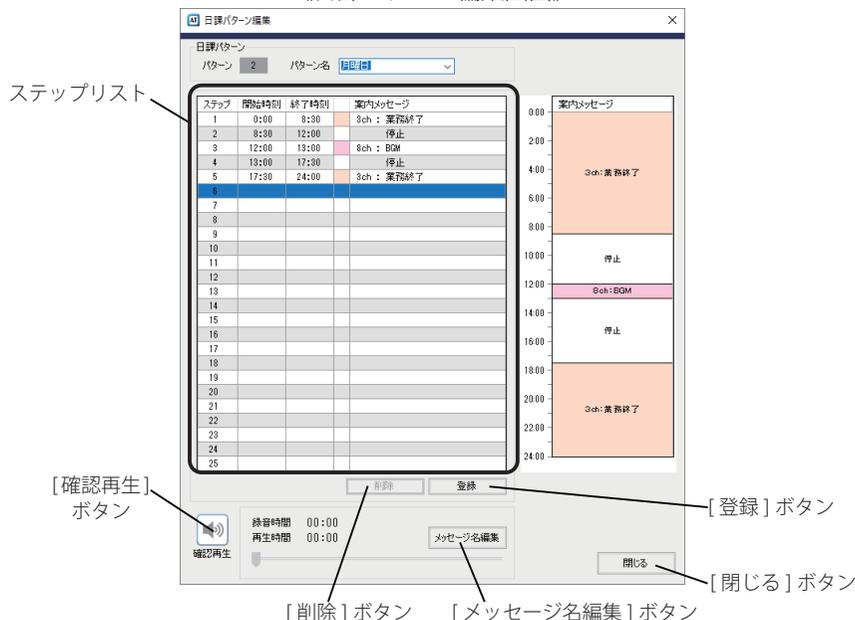
- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。



## ■ 動作ステップの作成

日課パターンごとの動作ステップを作成します。0:00 から 24:00 まで最大 25 ステップの設定ができます。  
【スケジュール】画面の【日課パターン編集】ボタンをクリックすると、【日課パターン編集】画面が表示されます。

《日課パターン編集画面》



① 動作ステップの開始時刻、終了時刻、案内メッセージを設定します。

1) 開始時刻、終了時刻をクリックして、キーボードから時刻を設定します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	08:30	停止
2			
3			
4			

クリックして時刻を入力します。

・時間と分の間のコロン(:)は省略できます。

2) 案内メッセージ欄の【▼】をクリックして表示される一覧から、使用するチャンネルを選択します。

※案内メッセージを使用しない場合の動作ステップ(停止の動作ステップ)は設定不要です。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	08:30	停止
2			
3			1ch: 停止 2ch: 臨時休業
4			3ch: 平日休日
5			4ch: 夏業休 5ch: 夏業休 6ch: 案内メッセージ1 7ch: 案内メッセージ2
6			8ch: BGM
7			9ch: 案内メッセージ3 10ch: 案内メッセージ4
8			11ch: 案内メッセージ1
9			

クリックします。

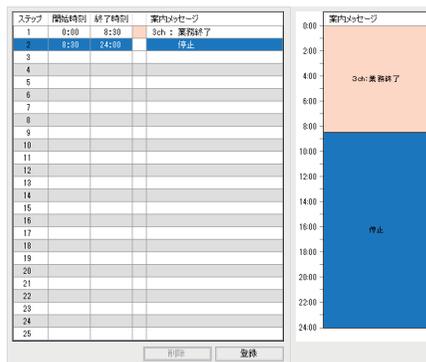
ステップに使用する案内メッセージを選択します。

② [登録] ボタンをクリックします。



クリックします。

・ステップリストに登録されます。



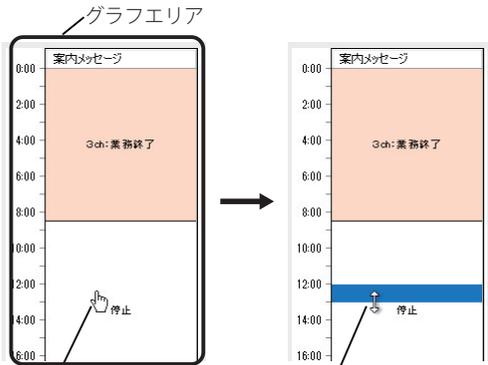
③ 別のステップを設定する場合は、手順①、②を繰り返します。

④ [閉じる] ボタンをクリックします。

・スケジュール画面(日課パターン一覧)が表示されます。

## ワンポイント

- 動作ステップの設定は、グラフエリアをドラッグして設定することもできます。



追加する時間帯をクリックします。

ドラッグして開始時間と終了時間が設定できます。

- ドラッグにより設定できる時間は10分単位です。10分未満のステップは、ステップリストから設定してください。
- 開始ステップの開始時刻は0:00で、最終ステップの終了時刻は24:00となります。
- 選択したメッセージに音源が登録されている場合は、メッセージを再生して録音内容が確認できます。手順②でメッセージを登録したあとで、[確認再生] ボタンをクリックします。

クリックします。



## 動作ステップを削除する

- 動作ステップを削除する場合は、削除する動作ステップを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	8:30	8ch: 業務終了
2	8:30	19:00	停止
3	19:00	24:00	8ch: 業務終了
4			

削除する動作ステップを選択します。



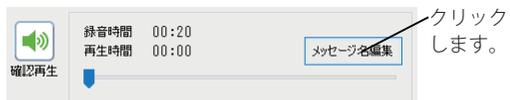
クリックします。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

## メッセージ名を編集する

日課パターン編集画面からメッセージ名が編集できます。

1. [メッセージ名編集] ボタンをクリックします。



- メッセージ名編集画面が表示されます。

2. [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力した後に、[閉じる] ボタンをクリックします。

- 最大 10 文字まで入力できます。



## ワンポイント

- メッセージ名編集画面において、メッセージ色の変更ができます。画面の [メッセージ色] 配置欄をダブルクリックして、表示される色選択画面から指定してください。

[メッセージ色] 配置欄

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	案内メッセージ1	00:00	
2	案内メッセージ2	00:22	○
3	案内メッセージ3	00:00	

ダブルクリックします。

↓  
クリックして選択します。



クリックします。

## 年間スケジュールを作成する

タイマー運用において、日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。スケジュールには、「曜日」、「変動日」、「祝日」、「特定日」の4種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日」、「祝日」、「変動日」、「曜日」の順です。

また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した月から最大20年です。

(例1) 2021/6/20に登録した場合 ⇒ 有効期限：2041/5/31 (有効期間：19年と346日)

(例2) 2022/1/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2041/12/31 (有効期間：20年)

そのため、有効期間内に本体装置に年間タイマーを再登録してください。

### ■ スケジュールの種類

#### ● 曜日スケジュール

スケジュールを曜日ごと（日曜日、月曜日、火曜日・・・）に作ります。運用の基本になります。

#### ● 変動日スケジュール

毎月、指定週の指定曜日（第何何曜日）に同じスケジュールで運用するときは、変動日スケジュールを作ります。

#### ● 祝日スケジュール

祝日に本装置を専用のスケジュールで運用するときは、祝日スケジュールを作ります。

あらかじめ登録されている祝日を削除することで祝日スケジュールで運用しないこともできます。

#### ● 特定日スケジュール

事業所独自の休日などがあり、専用のスケジュールを作るときは特定日スケジュールを利用します。

年末年始や夏休みのスケジュールなどを作るときに使用します。

《スケジュール画面（日課パターン設定）》

スケジュール登録

曜日 毎週 日曜日  
 変動日 第1 日曜日  
 祝日 祝日の編集  
 特定日

パターン選択 停止 登録

番号	毎週	対応日	パターン
1	毎週	日曜日	1：日曜日
2	毎週	月曜日	2：月曜日
3	毎週	火曜日	3：火曜日
4	毎週	水曜日	4：水曜日
5	毎週	木曜日	5：木曜日
6	毎週	金曜日	6：金曜日
7	毎週	土曜日	7：土曜日
8	祝日		8：祝日

[割付確認] ボタン

[閉じる] ボタン

## ■ 曜日・変動日の登録

- ① [日課パターン設定] タブをクリックします。
- ② 登録するスケジュールのオプションボタンをクリックして選択します。

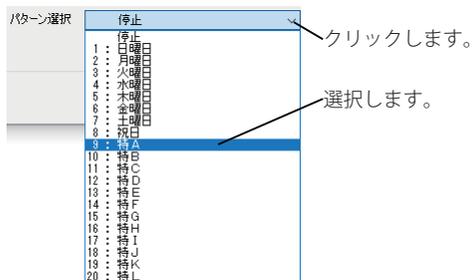
オプションボタンをクリックします。



クリックします。

選択します。

- ③ 適用するパターンを[ v ]をクリックして選択します。



クリックします。

選択します。

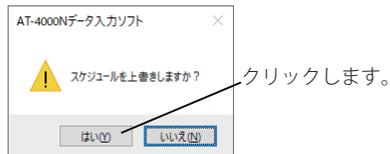
- ④ [登録] ボタンをクリックします。



クリックします。

・確認画面が表示されます。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

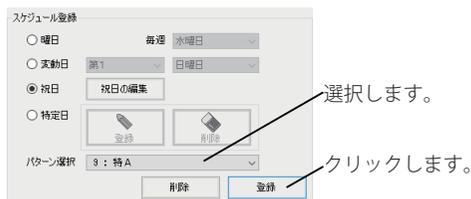
## ■ 祝日の登録

- ① [日課パターン設定] タブをクリックします。
- ② 祝日スケジュールのオプションボタンをクリックします。



オプションボタンをクリックします。

- ③ 適用するパターンを[ v ]をクリックして、[登録] ボタンをクリックします。

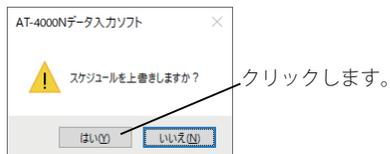


選択します。

クリックします。

・確認画面が表示されます。

- ④ [はい] ボタンをクリックします。

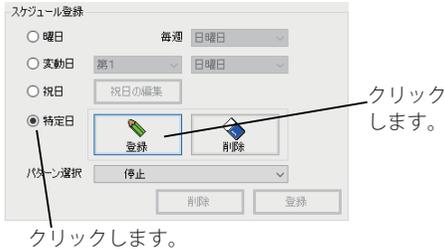


クリックします。

## スケジュールを編集する

### ■ 特定日の登録

- ① [日課パターン設定] タブをクリックします。
- ② 特定日スケジュールのオプションボタンをクリックして、[登録] ボタンをクリックします。



- ③ 適用するパターンを[ v ] をクリックして選択します。



- ④ 登録する特定日をクリックします。  
対象の日付を検索します。



ポインターが鉛筆型になります。

- ・ドラッグして連続する複数の特定日が登録できます。



ドラッグすると連続して登録できます。

### 日課パターンを削除する

#### 【曜日・変動日・祝日】

登録されている日課パターンを削除する場合は、削除する日課パターンを選択して、[削除] ボタンをクリックします。



削除する日課パターンを選択します。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

#### 【特定日】

特定日の日課パターンを削除する場合は、以下の手順で削除します。

- 1) 特定日の削除ボタンをクリックします。



クリックします。

- 2) 削除する特定日をクリックします。



ポインターが消しゴム型になります。

- ・ドラッグして連続する複数の特定日が削除できます。

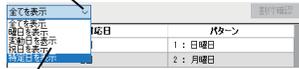


ドラッグすると連続して削除できます。

## ワンポイント

- 表示される内容を絞り込んで、登録した対応日とパターンが確認できます。

クリックします。



選択します。



登録内容を確認します。

- [6ヶ月表示] ボタンをクリックすると、6ヶ月間のカレンダーが表示されます。[閉じる] ボタンをクリックすると画面が消えます。



クリックします。



クリックします。

- スケジュールが登録されているカレンダーの日やパターンをダブルクリックすると【日課パターン編集】画面が表示されます。



ダブルクリックすると、【日課パターン編集】画面が表示されます。

## 割り付けたスケジュールを確認する

登録されている日課パターンを確認する場合は、確認する日課パターンを選択して、[割付確認] ボタンをクリックします。



クリックします。

確認する日課パターンを選択します。

スクロールして確認できます。



## スケジュールを編集する

### ■ 祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変更になったときなどに祝日を編集します。

- ① [祝日] オプションをクリックして、[祝日の編集] ボタンをクリックします。



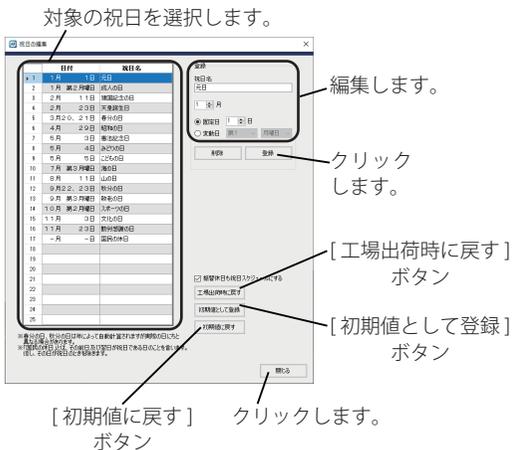
・ 祝日の編集画面が表示されます。

- ② 対象とする祝日を選択します。
  - ・ 追加する場合は、空白の行をクリックします。
  - ・ 編集する場合は、対象の祝日をクリックします。

- ③ 修正内容を編集して、[登録] ボタンをクリックします。
  - ・ 祝日名は最大 10 文字まで入力できます。
  - ・ 変更確認画面が表示されます。

- ④ [はい] ボタンをクリックします。
  - ・ 祝日を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックして表示される削除確認画面で、[はい] ボタンをクリックします。
  - ・ 祝日の編集画面が更新されます。

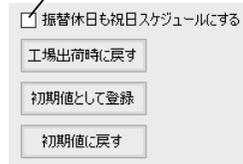
- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックします。



### 👉 ワンポイント

- 編集した内容を初期値として登録する場合は、[初期値として登録] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す] ボタンをクリックしてください。
- 特定の祝日（春分の日、秋分の日、国民の休日）は、削除すると再登録できません。誤って削除してしまった場合や、編集した内容を破棄する場合は、[工場出荷時に戻す] ボタンをクリックしてください。工場出荷時の内容に戻ります。
- 振替休日を祝日スケジュールで運用しない場合は、「振替休日を祝日スケジュールにする」のチェックを外してください。

クリックしてチェックを外します。



- すべての祝日を曜日スケジュールで動作させたい場合は、日課パターンにおいて祝日を選択して、[削除] ボタンをクリックします。

祝日を選択します。



---

メモ

# 機能設定を登録する

応答するまでのベル回数や案内メッセージの送出回数などの回線設定、時刻修正の有無およびリモコン操作に必要な暗証番号が変更（登録）できます。

## 設定画面の表示

① 編集画面の [設定] ボタンをクリックします。

《編集画面》



クリックします。

《設定画面》



[初期化] ボタン

※ 設定を初期化します。

[登録] ボタン

※ 設定した内容を登録  
します。

[閉じる] ボタン

※ 設定した内容を登録  
します。

[詳細設定]  
ボタン

## ■ 回線設定

本装置に着信があったときに、応答するまでの呼出音の回数を変更したり、案内メッセージの送出回数など回線設定が変更できます。

### A：応答までのベル回数

着信応答するまでの呼出音の回数を設定します。

・初期値：1回、設定範囲：1～9回

### B：案内メッセージ送出回数

繰り返し送出する案内メッセージの回数を設定します。

・初期値：1回、設定範囲：1～9回

### C：案内メッセージ繰り返し間隔時間

案内メッセージを繰り返して送出する際の間隔時間（秒）を設定します。

・初期値：1秒、設定範囲：1～5秒

### D：保留音繰り返し間隔時間

保留音を繰り返して送出する際の間隔時間（秒）を設定します。

・初期値：1秒、設定範囲：0～5秒

### E：回線保留時間

着信に自動応答してから回線を開放するまでの最大時間（分）を設定します。

・初期値：30分、設定範囲：1～100分

## F：待機時応答

応答モードが解除されている場合、固定の応答メッセージ（※）が送出されるまでの時間を設定します。応答メッセージ送出中に暗証番号を入力すると、リモコン操作が可能になります。

また、送出される対象の回線は「回線4」になります。（回線1～3には送出されません）

・初期値：無効、設定範囲：無効/45秒/90秒

※ 応答メッセージ：

「ただいま、電話に出ることができません。恐れ入りますが、改めてお電話をいただきますようお願いいたします」

## ■ 時刻修正

ネットワーク上にNTPサーバがあるときは、NTPサーバを使用して時刻修正ができます。

### G：時刻修正

“使用する” のオプションボタンをクリックして、IPアドレスと修正時刻を設定します。

・初期値：使用しない

クリックします。



設定します。

・初期値（NTPサーバ）

IPアドレス：空白、修正時刻：00時30分（毎時30分固定）

## ■ リモコン設定

本装置に電話をかけて案内メッセージの録音・再生や応答モードの切り替えなど、各種のリモコン操作をするための暗証番号が設定できます。

### H：暗証番号

リモコン操作をする際の暗証番号を設定します。  
・初期値：なし、設定範囲：半角数字、4～8文字

## ■ 詳細設定

[詳細設定] ボタンをクリックすると、電話回線の回線種別や並列電話機の検出方法、着信時のベル検出方法などの詳細についての設定変更ができます。



クリックすると設定した内容が登録されます。

クリックすると、設定した内容が破棄されます。

### ①：回線一種別

接続する電話回線の回線種別を設定します。  
・初期値：ナンバーディスプレイ回線  
設定範囲：通常回線 / ナンバーディスプレイ回線

### ②：並列電話機一検出

本体装置が応答中に並列電話機が受話器を上げたとき、本体装置が回線を開放するかどうかを設定します。本体装置を開放する場合は、「する」に設定します。  
・初期値：する、設定範囲：する / しない

### ③：並列電話機一検出ディレイ

並列電話機の検出を開始するまでの遅延時間を設定します。  
・初期値：1秒、設定範囲：1秒 / 2秒 / 3秒  
※「並列電話機一検出」が「する」の場合に有効になります。

### ④：話中音一周期性検出方法

話中音の周期性の検出方法を設定します。  
・初期値：周期性、設定範囲：1秒周期 / 周期性

### ⑤：話中音一判定回数

話中と判断する話中音の回数を設定します。  
・初期値：4回、設定範囲：4回 / 8回

### ⑥：メッセージ送出手動ディレイ

本体装置が応答してから送出するメッセージを遅延させるかどうかを設定します。  
・初期値：する、設定範囲：する / しない

### ⑦：メッセージ送出手動ディレイ時間

本体装置が応答してからメッセージを送出するまでの時間を設定します。  
・初期値：1秒、設定範囲：1～15秒  
※「メッセージ送出手動ディレイ」が「する」の場合に有効になります。

### ⑧：ベル検出一ベル ON 時間

着信時のベル信号を判定するベルの ON 時間を設定します。  
・初期値：100ms、設定範囲：100ms / 300ms / 500ms / 700ms

### ⑨：ベル検出一ベル OFF 時間

着信時のベル信号を判定するベルの OFF 時間を設定します。  
・初期値：700ms、設定範囲：100ms / 300ms / 500ms / 700ms

### ⑩：ベル検出一ベル無し確定時間

ベルが終了したと判断する時間を設定します。  
・初期値：3.0秒、設定範囲：2.5秒 / 3.0秒 / 3.5秒 / 4.0秒

### ⑪：その他一ダイヤル起動防止

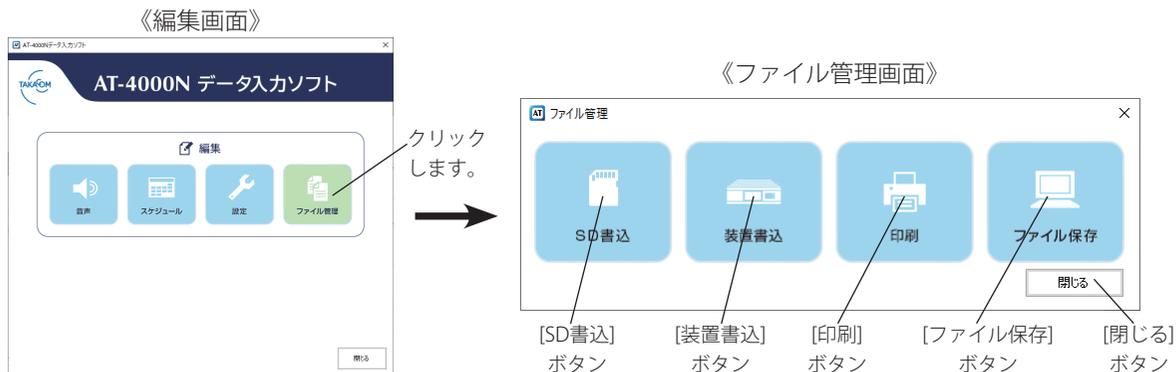
ダイヤルパルスによる誤起動防止を設定します。  
・初期値：有効、設定範囲：有効 / 無効

## ワンポイント

- 並列電話機を受話器を上げて回線を開放せずメッセージの送出手動ディレイが「する」の場合は、一度受話器を置き、再度受話器を上げてください。

# ファイル管理

作成したメッセージや年間タイマーなどのスケジュールおよび、本体装置の設定情報などを SD カードや本体装置および制御用パソコンのハードディスクに保存します。また年間スケジュールが印刷できます。



制御用パソコンでスケジュールだけを作成して、メッセージは本体装置で作成して運用する場合は、SD 書込や装置書込を実施する前に、本体装置にメッセージが録音してあることを確認してください。

## SD 書込

制御用パソコンに市販の SD カードリーダーを接続して、SD カードを挿入してください。

※ SDHC カードを使用する場合は、SDHC 対応のカードリーダーをご使用ください。

※ SD カードに暗号化して書き込み等をするセキュリティ機能を保有しているパソコンの場合、セキュリティ機能を解除してください。

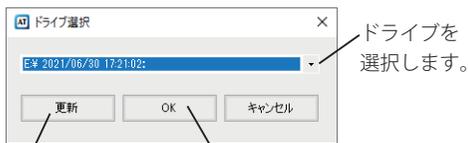
① ファイル管理画面の [SD 書込] ボタンをクリックします。



クリックします。

・ドライブ選択画面が表示されます。

② SD カードをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



[更新] ボタン クリックします。

・SD 書込画面が表示されます。

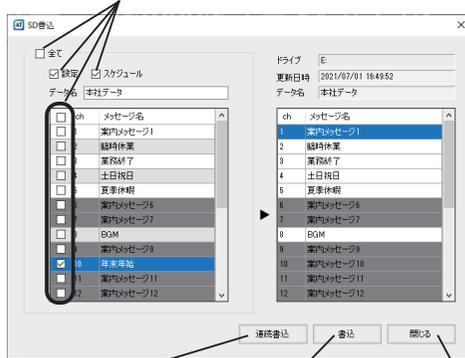
※ 複数の SD カードに書き込む場合で、SD カードを交換したときは、[更新] ボタンをクリックして SD カードを選択してください。

③ 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [書込] ボタンをクリックします。

※ 設定されていないメッセージにチェックを付けることはできません。

※ 「全て」のチェックボックスにチェックがあると SD カードのデータをすべて消去してから、データを書き込みます。

チェックを付けます。



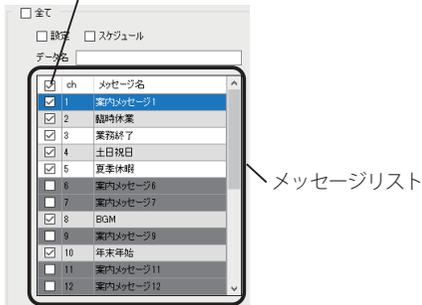
[連続書込] ボタン [書込] ボタン [閉じる] ボタン

・整合性確認画面が表示されます。

## ワンポイント

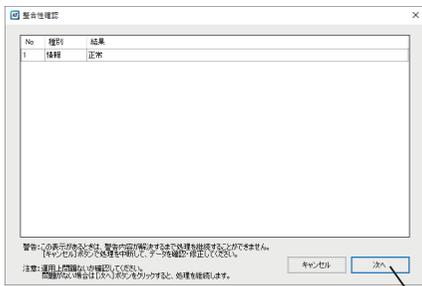
- メッセージリストにおけるタイトル行の [□] 欄をクリックすると、登録されているすべてのメッセージにチェックが付きます。

タイトル行の [□] 欄をクリックします。



※タイトル行の [□] 欄をクリックすると、SD カードのメッセージをすべて消去してから、メッセージを書き込みます。

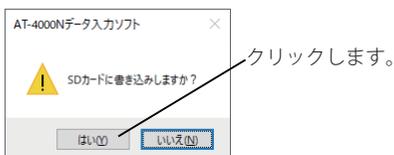
- ④ 表示される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



クリックします。

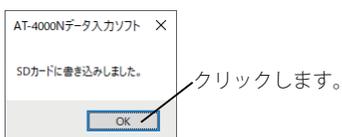
- ・書込確認メッセージが表示されます。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。



- ・SD カードにデータの書き込みが開始されます。
- ・データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。



- ⑦ 各画面において [閉じる] ボタンをクリックします。

## 整合性確認について

作成したデータの整合性をチェックして判定結果が一覧として表示されます。

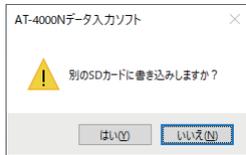


[キャンセル] ボタン [次へ] ボタン

- 警告：この表示があるときは、警告内容が解決するまで処理を継続することができません。  
[キャンセル] ボタンで処理を中断して、データを確認・修正してください。
- 注意：運用上問題ないか確認してください。問題がない場合は [次へ] ボタンをクリックすると、処理を継続します。

## ワンポイント

- 手順③で[連続書込]ボタンをクリックすると、複数のSDカードに書き込みができます。その際は、手順⑥の後に以下のメッセージが出力されます。



[はい]ボタンをクリックしたあとで、以下の手順を実施してください。(USBドライブが「E:」の例)

- 1) エクスプローラーなどでSDカードリーダーのドライブを右クリックして表示されるメニューから[取り出し]をクリックしてください。



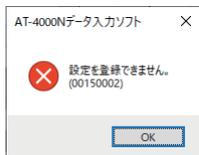
右クリックします。

- 2) ハードウェアの取り出し画面が出力されたことを確認してSDカードリーダーに別のSDカードを差し込んでください。



- 3) 再度手順②以降を実施してください。

- 以下のメッセージが出力された場合は、SDカードリーダーを正常に制御用パソコンから取り外した後で、再度制御用パソコンにSDカードリーダーを接続するか、本ソフトを再起動してください。



## STOP お願い

- 「ハードウェアの取り外し手順」を実施しないで、SDカードをSDカードリーダーから抜かないでください。SDカードのデータが破損する恐れがあります。

## 装置書込

作成したデータをネットワーク上に接続された本装置に直接書き込みます。

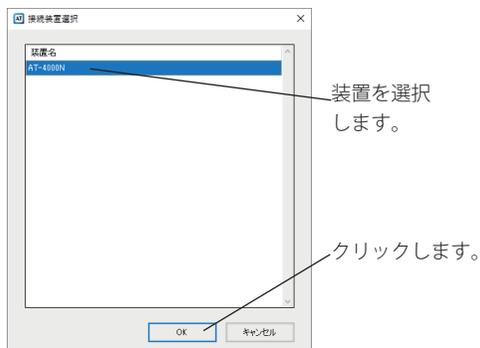
- ① ファイル管理画面の[装置書込]ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・接続装置選択画面が表示されます。

- ② 書き込み対象装置を選択して[OK]ボタンをクリックします。



装置を選択します。

クリックします。

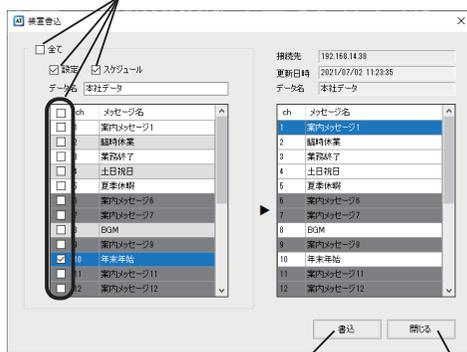
- ・装置書込画面が表示されます。

- ③ 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて[書込]ボタンをクリックします。

※設定されていないメッセージにチェックを付けることはできません。

※「全て」のチェックボックスにチェックがあると本装置のデータをすべて消去してから、データを書き込みます。

チェックを付けます。



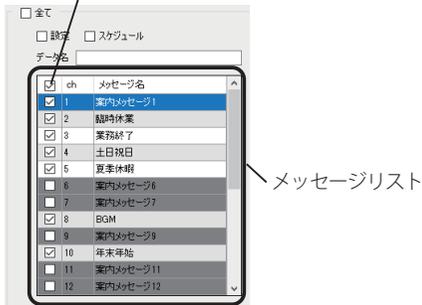
[書込]ボタン [閉じる]ボタン

- ・整合性確認画面が表示されます。

## ワンポイント

- メッセージリストにおけるタイトル行の [ ] 欄をクリックすると、登録されているすべてのメッセージにチェックが付きます。

タイトル行の [ ] 欄をクリックします。

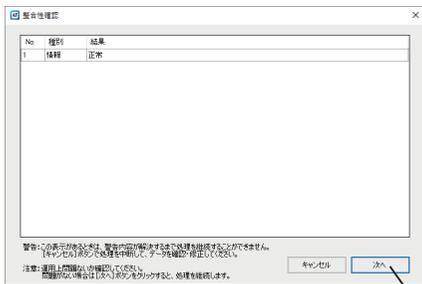


※タイトル行の [ ] 欄をクリックすると、本装置のメッセージをすべて消去してから、メッセージを書き込みます。

## ワンポイント

- 整合性確認画面において、種別に「警告」が含まれている場合は、[次へ] ボタンはクリックできません。内容を確認してデータを修正してください。詳細については、「整合性確認について」(37 ページ)を参照してください。

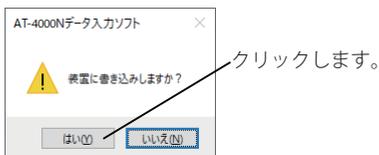
- ④ 表示される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



クリックします。

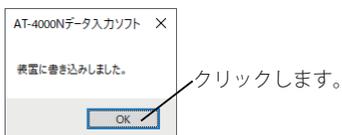
- ・書込確認メッセージが表示されます。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。



- ・本装置にデータの書き込みが開始されます。
- ・データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。



- ⑦ 各画面において [閉じる] ボタンをクリックします。

## 印刷

メッセージ一覧やスケジュール一覧などの登録内容を印刷できます。あらかじめプリンタの電源を入れて、A4用紙をセットしてください。

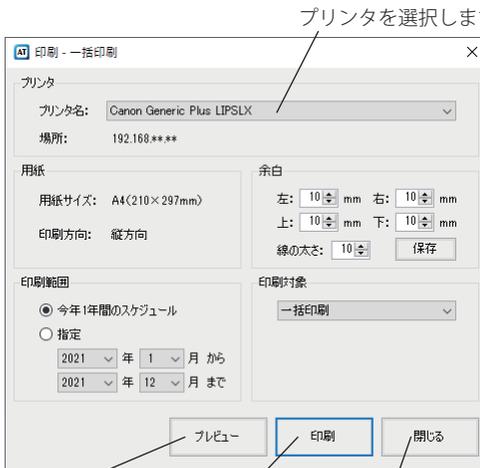
① ファイル管理画面の [印刷] ボタンをクリックします。



クリックします。

・印刷画面が表示されます。

② 印刷するプリンタや印刷範囲、印刷対象を選択します。



プリンタを選択します。

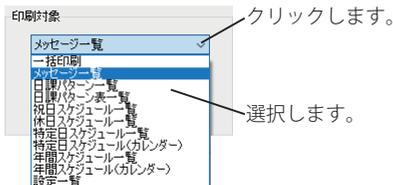
[プレビュー] ボタン [印刷] ボタン [閉じる] ボタン

※ 月単位で印刷する場合は、「指定」のオプションボタンをクリックして選択できます。



クリックします。

※ 印刷対象については [v] をクリックして表示される一覧から選択できます。



クリックします。

選択します。

③ [印刷] ボタンをクリックします。

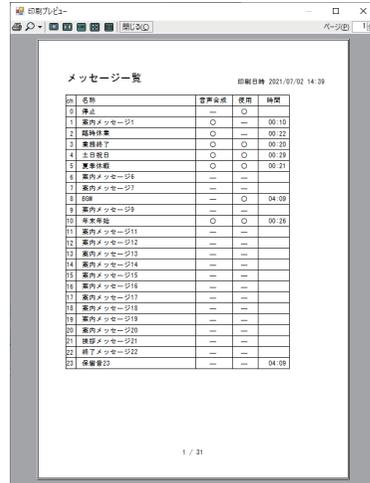
・印刷画面が表示されます。

④ 各画面において [閉じる] ボタンをクリックします。

## ワンポイント

● [プレビュー] ボタンをクリックすると、余白を含めた印刷イメージが確認できます。

【メッセージ一覧の印刷プレビュー】



● 余白を変更した場合は、[保存] ボタンをクリックすると、次回から変更した余白で印刷画面が表示されます。



[保存] ボタン

● 印刷範囲において、「今年1年間のスケジュール」を選択した場合、スケジュールに関する内容は、現在月から12月までが対象になります。過去のスケジュールを印刷する場合は、「指定」のオプションボタンをクリックして範囲選択してください。

## ファイル保存

編集中の各種データを、USB メモリや制御用パソコン、事前に割り当てたネットワークドライブなどに保存できます。

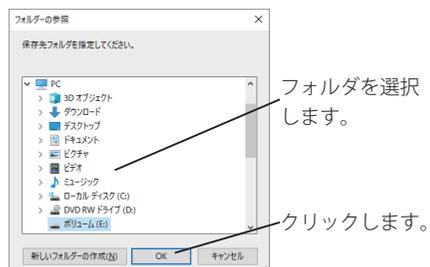
- ① ファイル管理画面の [ファイル保存] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・フォルダーの参照画面が表示されます。

- ② 保存するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

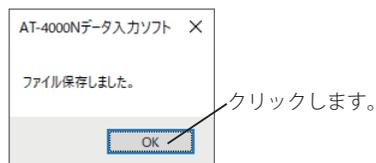


- ・保存完了画面が表示されます。

### STOP お願い

- データの保存場所に、「C ドライブ」直下やシステムフォルダ（「ProgramFiles」など）を指定しないでください。

- ③ [OK] ボタンをクリックします。



次回からは、[ファイル保存] ボタンをクリックすると、前回選択されたフォルダが表示されます。

# 運用管理

制御用パソコンからのネットワーク制御により、本装置の応答件数を集計したり、応答モードやタイマーモードのセット／解除が実施できます。また本装置の操作や動作の履歴（ログ）情報を確認することができます。

## 集計

本装置の応答件数を直接ネットワーク制御により収集したり、SDカードから読み込んで収集することができます。

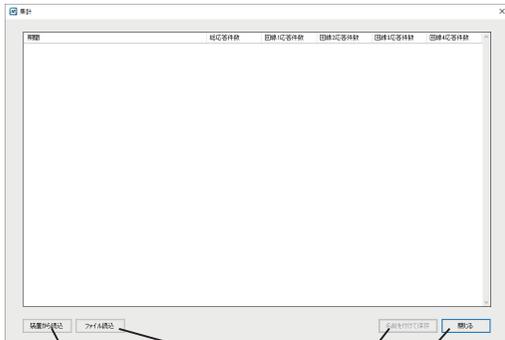
- ① メニュー画面の [集計] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ 集計画面が表示されます。

《集計画面》



[装置から読み込] ボタン

[ファイル読み込] ボタン

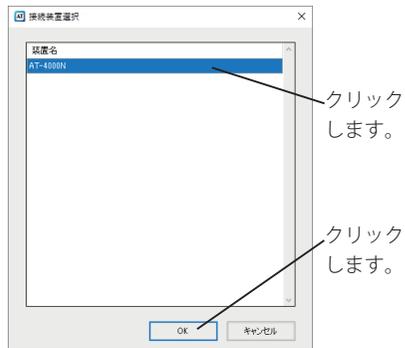
[閉じる] ボタン

[名前をつけて保存] ボタン

## ■ 装置からの読み込み

あらかじめ本装置の IP アドレスなどを登録してください。詳細については、「PC 設定」(54 ページ) を参照してください。

- ① [装置から読み込] ボタンをクリックします。
- ② データを読み込む装置を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



- ・ 集計画面が表示されます。

期間	総応答件数	応答1回件数	応答2回件数	応答3回件数	応答4回件数
2012年7月1日 1時00分00秒 ~ 2012年7月1日 1時05分00秒	1	1			1
2012年7月1日 1時05分00秒 ~ 2012年7月1日 1時10分00秒	1				1
2012年7月1日 1時10分00秒 ~ 2012年7月1日 1時15分00秒	3	3	2		2
2012年7月1日 1時15分00秒 ~ 2012年7月1日 1時20分00秒	1				1
2012年7月1日 1時20分00秒 ~ 2012年7月1日 1時25分00秒	1				1
2012年7月1日 1時25分00秒 ~ 2012年7月1日 1時30分00秒	1				1
2012年7月1日 1時30分00秒 ~ 2012年7月1日 1時35分00秒					
2012年7月1日 1時35分00秒 ~ 2012年7月1日 1時40分00秒					
2012年7月1日 1時40分00秒 ~ 2012年7月1日 1時45分00秒					
2012年7月1日 1時45分00秒 ~ 2012年7月1日 1時50分00秒					
2012年7月1日 1時50分00秒 ~ 2012年7月1日 1時55分00秒					
2012年7月1日 1時55分00秒 ~ 2012年7月1日 2時00分00秒	2				2
2012年7月1日 2時00分00秒 ~ 2012年7月1日 2時05分00秒					
2012年7月1日 2時05分00秒 ~ 2012年7月1日 2時10分00秒					
2012年7月1日 2時10分00秒 ~ 2012年7月1日 2時15分00秒	2				2
2012年7月1日 2時15分00秒 ~ 2012年7月1日 2時20分00秒					
2012年7月1日 2時20分00秒 ~ 2012年7月1日 2時25分00秒	3				3
2012年7月1日 2時25分00秒 ~ 2012年7月1日 2時30分00秒	1				1
2012年7月1日 2時30分00秒 ~ 2012年7月1日 2時35分00秒	1				1
2012年7月1日 2時35分00秒 ~ 2012年7月1日 2時40分00秒					
2012年7月1日 2時40分00秒 ~ 2012年7月1日 2時45分00秒					
2012年7月1日 2時45分00秒 ~ 2012年7月1日 2時50分00秒					
2012年7月1日 2時50分00秒 ~ 2012年7月1日 2時55分00秒	11				11
2012年7月1日 2時55分00秒 ~ 2012年7月1日 3時00分00秒	2				2
2012年7月1日 3時00分00秒 ~ 2012年7月1日 3時05分00秒	7	2			5
2012年7月1日 3時05分00秒 ~ 2012年7月1日 3時10分00秒					

## ■ ファイルからの読み込み

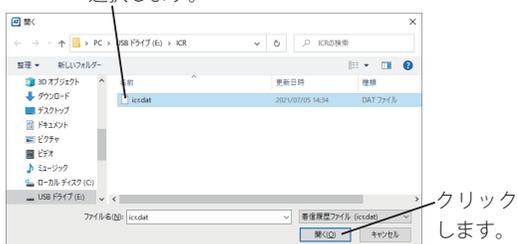
① 本装置から抜いた SD カードを制御用パソコンに接続して、[ファイル読込] ボタンをクリックします。

- ・ 読込画面が表示されます。

② 応答件数の格納フォルダ (¥ICR) 配下の集計ファイル (icr.dat) を選択した後で、[開く] ボタンをクリックします。

- ・ フォルダの例: 「E:¥ICR」
- ・ 「E:」は SD カードのドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。

選択します。



- ・ 集計画面が表示されます。

期間	応答件数	回線A応答件数	回線B応答件数	回線C応答件数	回線D応答件数	回線E応答件数
2012年1月1日 ~ 2012年1月31日	1	1				
2012年2月1日 ~ 2012年2月28日	1					1
2012年3月1日 ~ 2012年3月31日	3	2	1	2	2	
2012年4月1日 ~ 2012年4月30日	1					1
2012年5月1日 ~ 2012年5月31日	1					1
2012年6月1日 ~ 2012年6月30日	1					1
2012年7月1日 ~ 2012年7月31日	1					1
2012年8月1日 ~ 2012年8月31日	1					1
2012年9月1日 ~ 2012年9月30日	1					1
2012年10月1日 ~ 2012年10月31日	1					1
2012年11月1日 ~ 2012年11月30日	2					2
2012年12月1日 ~ 2012年12月31日	1					1
2013年1月1日 ~ 2013年1月31日	1					1
2013年2月1日 ~ 2013年2月28日	1					1
2013年3月1日 ~ 2013年3月31日	1					1
2013年4月1日 ~ 2013年4月30日	1					1
2013年5月1日 ~ 2013年5月31日	1					1
2013年6月1日 ~ 2013年6月30日	1					1
2013年7月1日 ~ 2013年7月31日	1					1
2013年8月1日 ~ 2013年8月31日	1					1
2013年9月1日 ~ 2013年9月30日	1					1
2013年10月1日 ~ 2013年10月31日	11					11
2013年11月1日 ~ 2013年11月30日	2					2
2013年12月1日 ~ 2013年12月31日	2					2
2014年1月1日 ~ 2014年1月31日	1					1

## ワンポイント

- 集計画面に表示された応答件数を、テキストエディタなどで参照できる形式に変換して、制御用パソコンのドライブや他のメディアに保存できます。[名前を付けて保存] ボタンをクリックして保存場所を選択してください。

保存する場所を選択します。



ファイル名を付けます。

クリックします。

## 本体操作

本装置の回線ごとの応答件数や装置情報の確認ができ、本装置の応答動作や運用方法を制御用パソコンから切り替えることができます。また、本装置の時刻を NTP サーバや制御用パソコンの時刻に修正できます。

### ■ 本体操作画面の表示

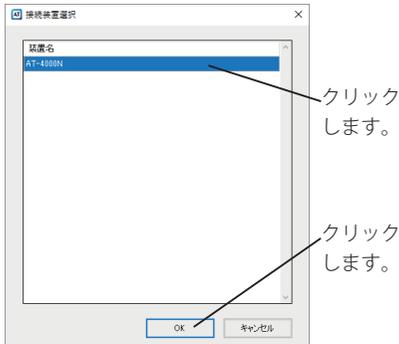
① メニュー画面の [本体操作] ボタンをクリックします。



クリックします。

・接続装置選択画面が表示されます。

② 操作する装置を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



クリック  
します。

クリック  
します。

・本体操作画面が表示されます。

《本体操作画面》



[線上げ応答] ボタン [送信] ボタン [実行] ボタン [閉じる] ボタン

### ● 応答セット期間

本装置の応答セットした日時から現在日時までを、応答セット期間として表示されます。

応答セット期間	2021年07月05日 11時59分36秒	～	2021年07月05日 13時05分29秒
	応答セット日時		現在日時

### ● 回線状態と応答件数

4回線のそれぞれの回線状態と応答件数が表示されます。

回線1	回線2	回線3	回線4
応答件数 3件	応答件数 2件	応答件数 1件	応答件数 1件
総応答件数			7件

回線の状態はアイコンで確認できます。

- 待機中 (黒)
- 着信中 (黄)
- 応答中 (青)
- 回線エラー

総応答件数は4回線の合計の応答件数です。

## ● 装置情報

装置情報	
A	装置名 AT-4000N
B	更新日時 2021/07/06 09:51:42
C	データ名 本社データ
D	現在日時 2021/07/06 10:16:41

E	応答 <span style="color: green;">●</span>
F	タイマー <span style="color: orange;">●</span>
G	メッセージ 5ch_夏季休暇

### A：装置名

本装置の装置名が表示されます。

### B：更新日時

メッセージやスケジュールなどの装置情報が更新された日時が表示されます。

### C：データ名

現在使用しているデータ名が表示されます。

### D：現在日時

本装置の現在日時が表示されます。

### E：応答ランプ

応答モードのとき点灯（緑）、応答解除中のとき消灯（灰）します。

### F：タイマーランプ

タイマーモードのとき点灯（橙）、タイマー解除中のとき消灯（灰）します。

### G：メッセージ

回線応答時に送られる案内メッセージが表示されます。

## ■ 応答・タイマーセット

応答モードやタイマーモードのセット／解除が実施できます。

- ① オプションボタンをクリックして、セット／解除を指定します。

クリックして選択します。

- ② 送出する案内メッセージを変更する場合は、メッセージを変更して、[送信] ボタンをクリックします。

※ 応答セットの場合に、メッセージが変更できます。

クリックして選択します。

- ・整合性確認画面が表示されます。

- ③ 表示される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。

クリックします。

- ・送信結果画面が表示されます。

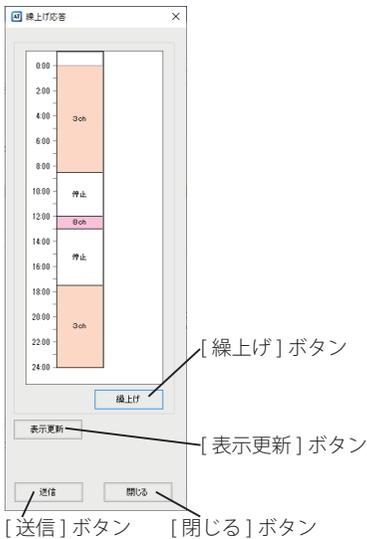
- ④ [OK] ボタンをクリックします。

● 繰上げ応答をする場合

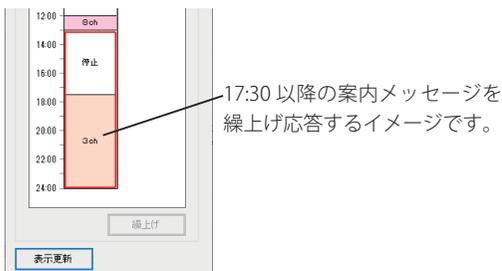
「応答解除中／タイマーセット中」の場合は、繰上げ応答ができます。

繰上げ応答とは、例えば、午後5時30分から応答になるように登録されているとき、午後1時に「繰上げ応答」の操作をすると、その時点から午後5時30分の内容で応答を開始します。会社などで業務終了案内でお使いのときで早めに応答させたい場合にお使いになります。

- ① [繰上げ応答] ボタンをクリックします。
  - ・繰上げ応答画面が表示されます。

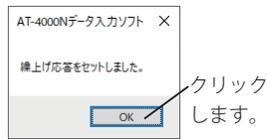


- ② [繰上げ] ボタンをクリックします。
  - ・繰上げ対象の案内メッセージ枠が赤色で表示されます。



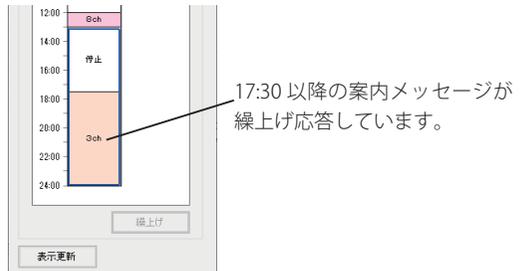
- ・[表示更新] ボタンをクリックすると、本装置の現在の日課パターンを読み込み、表示を更新します。
- ③ [送信] ボタンをクリックします。
  - ※ [送信] ボタンをクリックした後では、繰上げ応答画面から繰上げ応答のキャンセルはできません。本体操作画面から、タイマー解除した後で、再度タイマーセットしてください。
  - ・完了メッセージが表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。



👉 ワンポイント

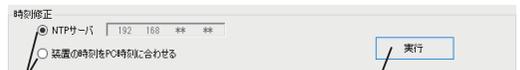
- 繰上げ応答実行後は、繰上げ対象の案内メッセージ枠が青色で表示されます。



■ 時刻修正

本装置の時刻を NTP サーバや制御用パソコンの時刻に修正できます。NTP サーバを使用する場合は、ネットワーク上に NTP サーバがあることを確認してください。

- ① オプションボタンをクリックして、[実行] ボタンをクリックします。



- ・完了メッセージが表示されます。

👉 ワンポイント

- NTP サーバのオプションボタンは本体装置に登録されている時刻修正が“使用する”に設定されていないと有効になりません。「機能設定を登録する 時刻修正」(34 ページ)を参照して、設定内容を変更した後で、「ファイル管理」(36 ページ)を参照して本体装置に書き込んでください。

---

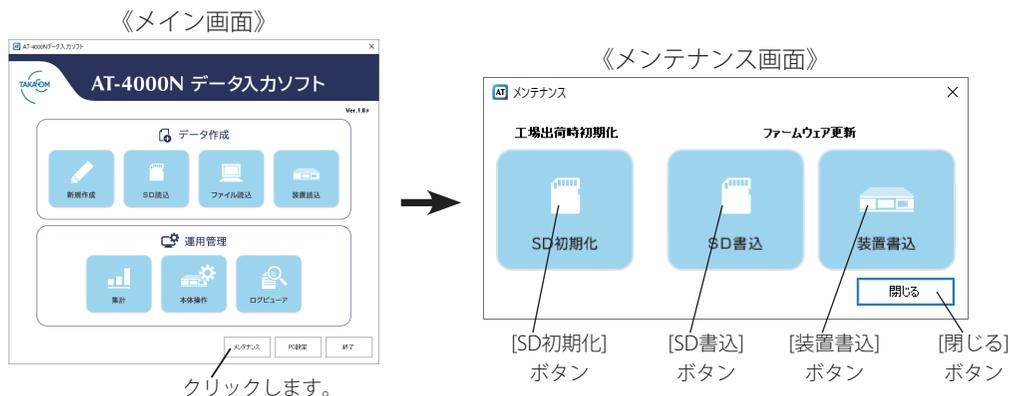
メモ





# メンテナンス

本装置の装置情報を工場出荷時の状態に初期化したり、本装置のバージョンアップが必要なときに、SD カード経由またはネットワーク経由で本装置を更新することができます。バージョンアップファイルは、事前に当社のホームページ (<https://www.takacom.co.jp>) からダウンロードしておきます。



## ワンポイント

- SD カードを工場出荷時の状態に初期化したり、SD カードにバージョンアップファイルを書き込む場合は、制御用パソコンに市販のSD カードリーダーを接続して、SD カードを挿入してください。
  - ※ SDHC カードを使用する場合は、SDHC 対応のカードリーダーをご使用ください。
  - ※ SD カードに暗号化して書き込み等をするセキュリティ機能を保有しているパソコンの場合、セキュリティ機能を解除してください。

## 工場出荷時初期化

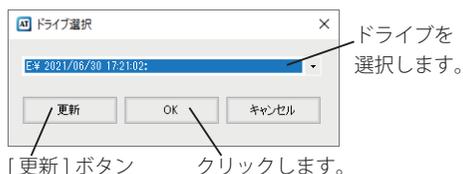
SD カードの情報を工場出荷時の状態に初期化します。

- ① メンテナンス画面の [SD 初期化] ボタンをクリックします。



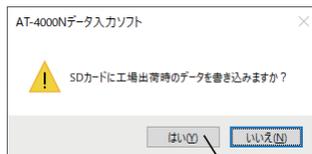
- ・ドライブ選択画面が表示されます。

- ② SD カードをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



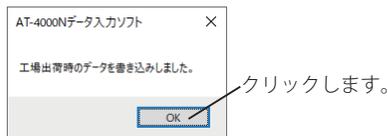
- ・書込確認画面が表示されます。
- ※ 選択するドライブが表示されない場合は、[更新] ボタンをクリックして SD カードを選択してください。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



- ・SD カードが工場出荷時の状態で初期化されます。
- ・初期化が完了すると、完了画面が表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。

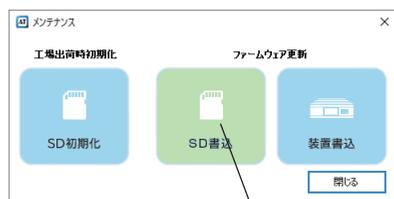


## ファームウェア更新

### ■ SD 書込

バージョンアップファイルを SD カードに書き込みます。

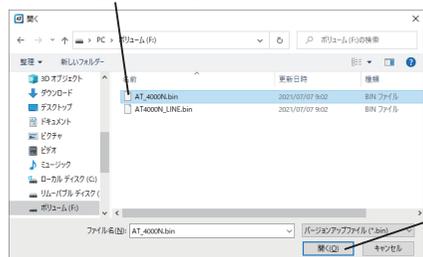
- ① メンテナンス画面の [SD 書込] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ファイルの選択画面が表示されます。

- ② ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。  
選択します。

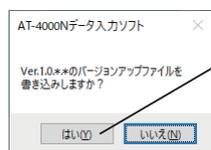


クリック  
します。

※バージョンアップファイル名

- メインプログラム：AT\_4000N.bin
  - ラインプログラム：AT4000N\_LINE.bin
- ・書込確認画面が表示されます。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ドライブ選択画面が表示されます。

- ④ SD カードをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。

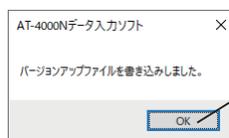


ドライブを  
選択します。

[更新] ボタン  
クリックします。

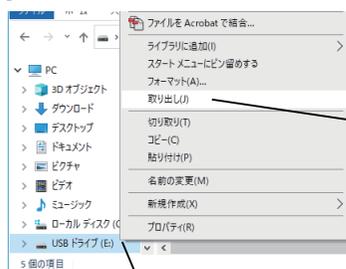
- ※選択するドライブが表示されない場合は、[更新] ボタンをクリックして SD カードを選択してください。
- ・書き込みが完了すると、完了画面が表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ⑥ エクスプローラーなどで SD カードリーダーのドライブを右クリックして表示されるメニューから [取り出し] をクリックしてください。



クリック  
します。

右クリックします。

- ⑦ ハードウェアの取り出し画面が出力されたことを確認して SD カードを取り出してください。

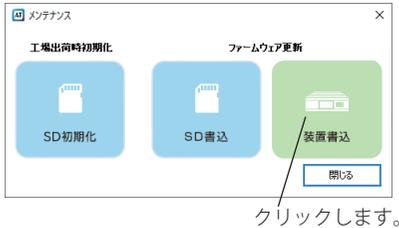


- ⑧ 本体編の取扱説明書「本装置を更新する」を参照して、本装置を更新します。

## ■ 装置書込

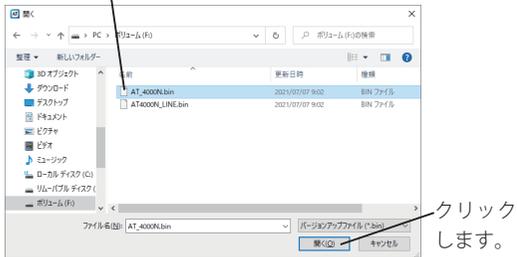
バージョンアップファイルをネットワーク経由で本装置に書き込みます。

- ① メンテナンス画面の [装置書込] ボタンをクリックします。



- ファイルの選択画面が表示されます。

- ② ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

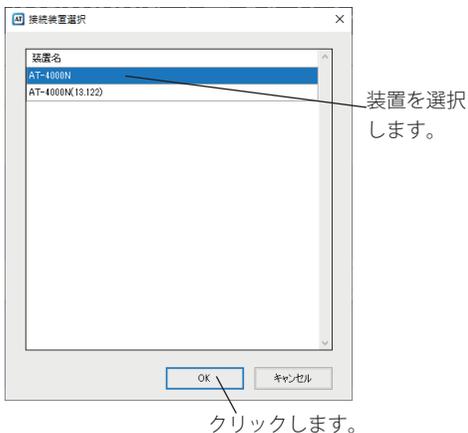


※バージョンアップファイル名

- メインプログラム：AT\_4000N.bin
- ラインプログラム：AT4000N\_LINE.bin

- 接続装置選択画面が表示されます。

- ③ 書き込み対象装置を選択して [OK] ボタンをクリックします。



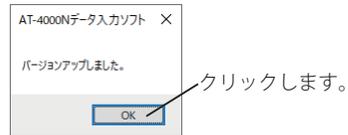
- 更新確認画面が表示されます。

- ④ [はい] ボタンをクリックします。



- 更新完了画面が表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



- 本装置が「ピー」となって再起動されます。

## ワンポイント

- 装置書込でファームウェアを更新すると、ファームウェア更新後は本装置の応答モードおよびタイマーモードが解除状態になります。必要に応じて、応答モードおよびタイマーモードをセットしてください。詳細は「運用管理 本体操作 応答・タイマーセット」(45 ページ) を参照してください。

---

メモ

# PC 設定

本装置の装置情報を登録したり、入力ソフトの各種バージョンが確認できます。本装置は最大 10 台登録できます。

## PC 設定画面の表示

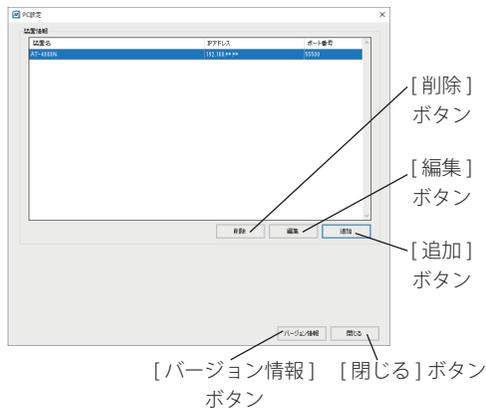
- ① メイン画面の [PC 設定] ボタンをクリックします。

《メイン画面》



クリックします。

《PC 設定画面》



[削除]  
ボタン

[編集]  
ボタン

[追加]  
ボタン

[バージョン情報] [閉じる] ボタン  
ボタン



## ワンポイント

- 入力ソフトの詳細なバージョンを確認する場合は、[バージョン情報] ボタンをクリックしてください。データベースや音声合成エンジンのバージョンなどが確認できます。

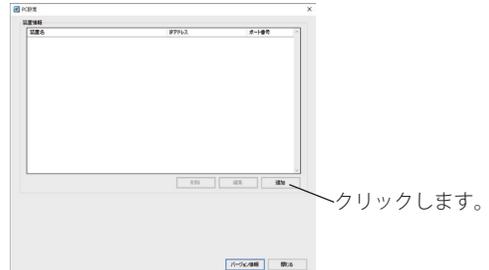
《バージョン情報表示例》



## 装置情報の登録

### ■ 装置情報の追加

- ① PC 設定画面の [追加] ボタンをクリックします。



- ・ 装置情報登録画面が表示されます。

- ② 本装置の装置名、IP アドレス、ポート番号を入力して、[LAN 接続テスト] ボタンをクリックします。

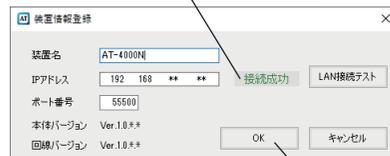
《接続状態》表示欄 クリックします。



- ・ 《接続状態》表示欄に接続状態が表示されます。

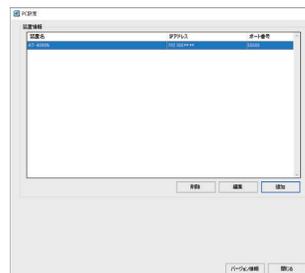
- ③ 接続状態が「接続成功」であることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

《接続状態》表示欄



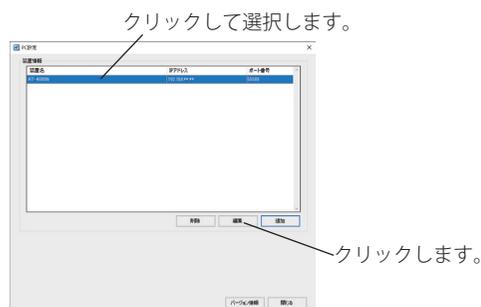
クリックします。

- ・ 本装置が登録されます。



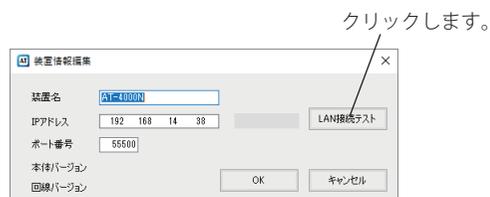
## ■ 装置情報の編集

- ① PC 設定画面で修正する本装置を選択して、[編集] ボタンをクリックします。



- 装置情報編集画面が表示されます。

- ② 修正する項目を編集して、[LAN 接続テスト] ボタンをクリックします。



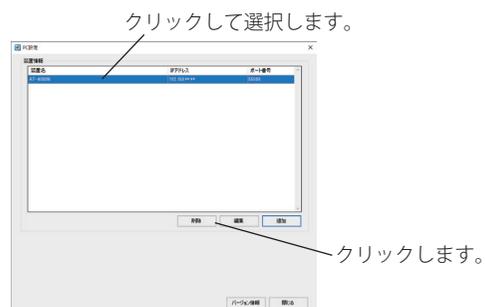
※ IP アドレスが「192.168.14.38」の例

- [接続状態] 表示欄に接続状態が表示されます。

- ③ 以降は「装置情報の追加」と同様です。

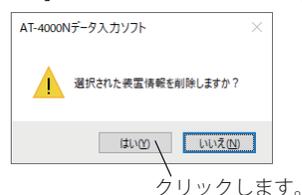
## ■ 装置情報の削除

- ① PC 設定画面で修正する本装置を選択して、[削除] ボタンをクリックします。



- 削除確認画面が表示されます。

- ② [はい] ボタンをクリックします。



- 本装置が削除されます。

# 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

## ■ AT-4000N データ入カソフト

こんなときは	お確かめください	参照 ページ
SD カードが読み込めない	カードリーダーに SD カードがセットされていますか？ 制御用パソコンにカードリーダーは接続されていますか？ カードリーダーは SD カードに対応していますか？ カードリーダーが接続されているドライブを選択していますか？	2ページ 7ページ 36ページ 50ページ
作成したファイルが読み込めない	参照先フォルダは正しいですか？ 「C ドライブ」直下やシステムフォルダ（「ProgramFiles」など）を指定していませんか？	41ページ
	MSG フォルダを選択していませんか？ MSG フォルダの1つ上のフォルダを選択してください。	8ページ
音声合成で作成したメッセージが意図したイメージで再生されない	音声合成詳細設定や辞書登録を実施する前に、音声合成によるメッセージを作成していませんか？	14ページ
	音声合成詳細設定や辞書登録を実施した後で、音声合成によるメッセージを作成してください。	15ページ 16ページ
意図した案内メッセージが送出されない	日課パターンは設定されていますか？ 日課パターンはスケジュールに登録されていますか？ 変動日や特定日の設定は正しく設定されていますか？	22ページ
SD カードに書き込めない	カードリーダーに SD カードがセットされていますか？ 制御用パソコンにカードリーダーは接続されていますか？ カードリーダーは SD カードに対応していますか？ SD カードのライトプロテクトがロックされていませんか？ カードリーダーが接続されているドライブを選択していますか？	2ページ 7ページ 36ページ 50ページ
本装置と接続できない	本装置の IP アドレスは正しいですか？ 本体装置で操作中ではないですか？	54ページ 6ページ
整合性確認画面の警告（注）により、スケジュールが SD カードや本体装置に書き込めない	メッセージは作成（録音）されていますか？ スケジュールを書き込む場合は、対象となるメッセージが作成（録音）されている必要があります。 対象となるメッセージも書き込み対象とするか、本体装置にメッセージを作成（録音）してください。	36ページ 37ページ

注）整合性確認画面の警告例

10	警告	日課パターン1で割付されている案内メッセージ1が録音されていません。
----	----	------------------------------------



### 使い方・取付け方などのご相談

#### ● お電話から

お客様相談センター

 **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9：00～17：30  
(土・日曜日、祝日、当社指定休日除く)

#### ● ホームページから

「よくあるご質問」をご覧ください  
「お問い合わせ」のフォームよりご相談ください。

<https://www.takacom.co.jp>

### 修理に関するご相談

お買い上げの販売店様または  
当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社へのお問い合わせ先はホームページ「修理センター」をご覧ください。

<https://www.takacom.co.jp>

株式会社 **タカコム**

本社・工場 / 〒 509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709